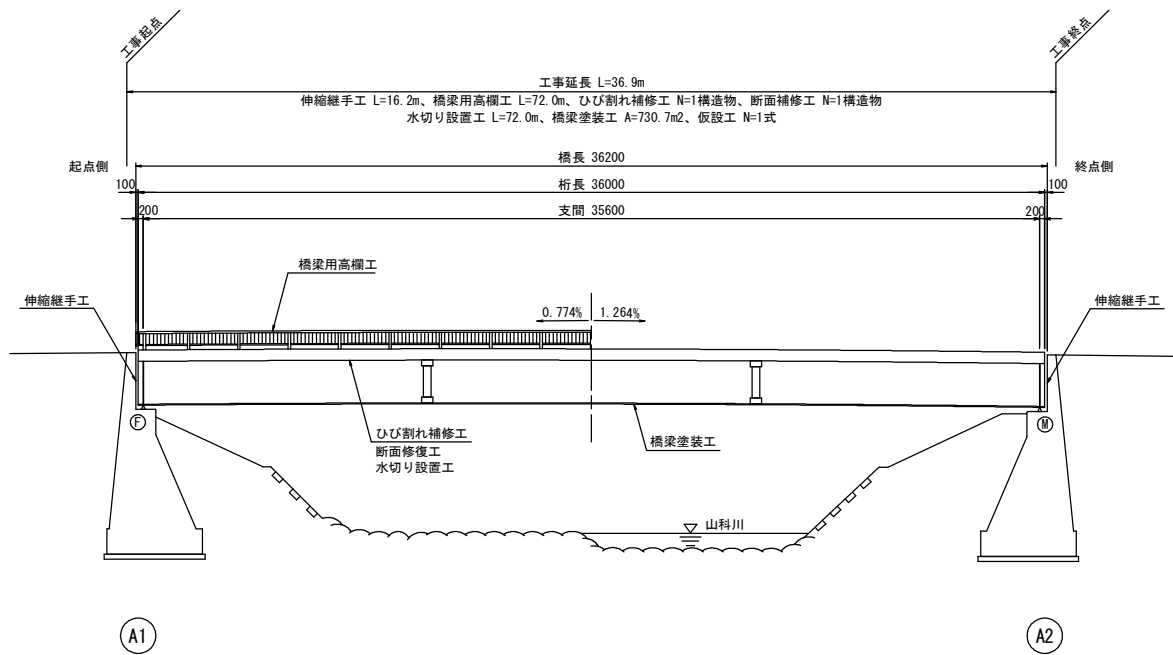


(総合評価) 勸修寺橋他 1 橋補修工事 図面目次

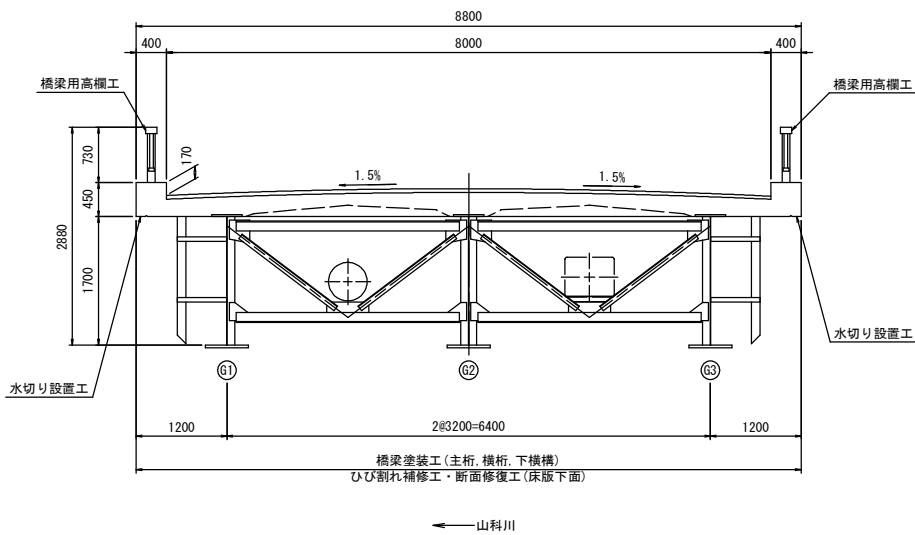
図 面 名	図面番号	枚数	備考
勸修寺橋 補 修 一 般 図	1	1	
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (1)	2	1	ひび割れ補修工・断面修復工 (桁下(1-1径間))
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (2)	3	1	ひび割れ補修工・断面修復工 (桁下(1-2径間))
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (3)	4	1	ひび割れ補修工・断面修復工 (桁下)
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (4)	5	1	ひび割れ補修工・断面修復工 (下部工)
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (5)	6	1	水切り設置工
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (6)	7	1	橋梁塗装工(主桁・横桁・下横構)
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (7)	8	1	橋梁用高欄工
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (8)	9	1	橋梁用高欄工
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (9)	10	1	止水材設置工(A1側)
勸修寺橋 補 修 詳 細 図 (10)	11	1	止水材設置工(A2側)
勸修寺橋 <参考図> 勸修寺橋 吊足場一般図	12	1	
南畑人道橋 補 修 一 般 図	10	1	
南畑人道橋 補 修 詳 細 図 (1)	11	1	塗替塗装工(主桁・横桁・デッキ床版)
南畑人道橋 補 修 詳 細 図 (2)	12	1	桁補修工(主桁・横桁・デッキ床版)
南畑人道橋 補 修 詳 細 図 (3)	13	1	ひび割れ補修工・断面修復工 (下部工)
南畑人道橋 補 修 詳 細 図 (4)	14	1	沓座補修工(下部工)【公共関連】
南畑人道橋 補 修 詳 細 図 (5)	15	1	高欄補修工
南畑人道橋 <参考図> 南畑人道橋 吊足場一般図	16	1	

勸修寺橋 補修一般図

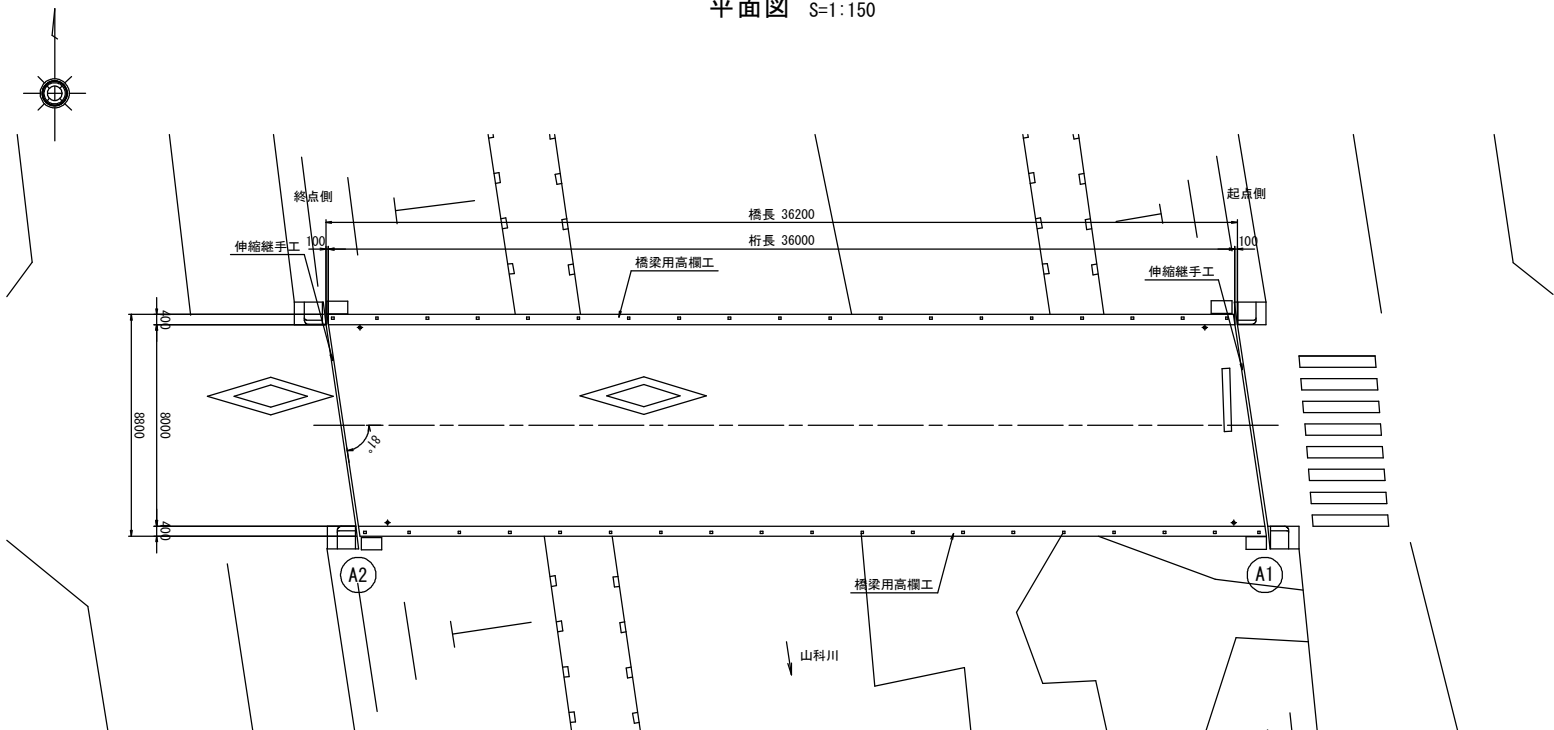
側面図 S=1:150



断面図 S=1:50



平面図 S=1:150



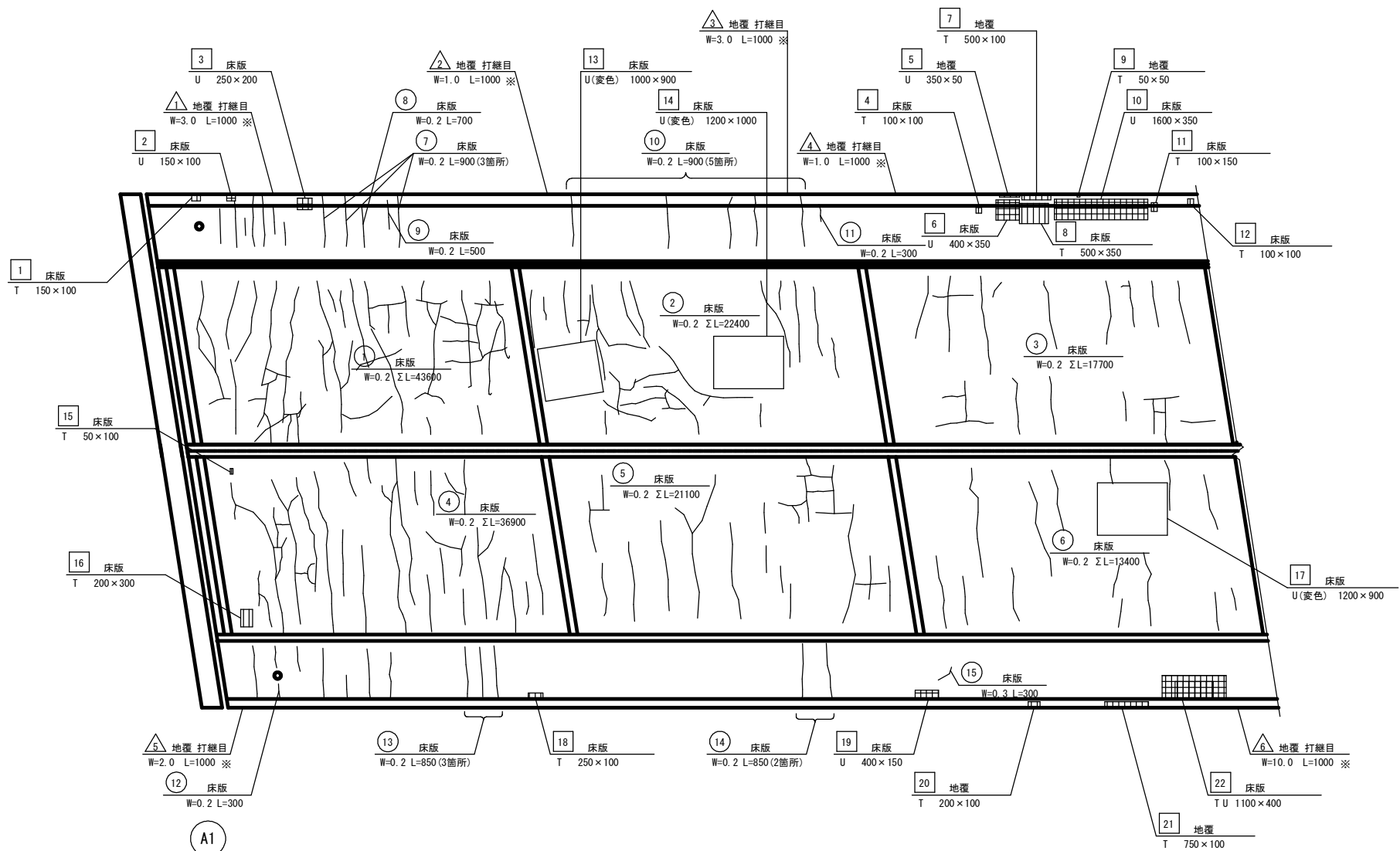
橋 梁 諸 元	
橋 梁 形 式	単純鋼合成版桁橋
適 用 示 方 書	鋼道路橋設計示方書(昭和39年)
設 計 荷 重	—
橋 長	36.200m
桁 長	36.000m
全 幅 員	8.800m
有 効 幅 員	8.000m
下 部 工 形 式	重力式橋台
基 礎 形 式	直接基礎
竣 工 年 月	昭和46年(1971年)

工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修一般図		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	1/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

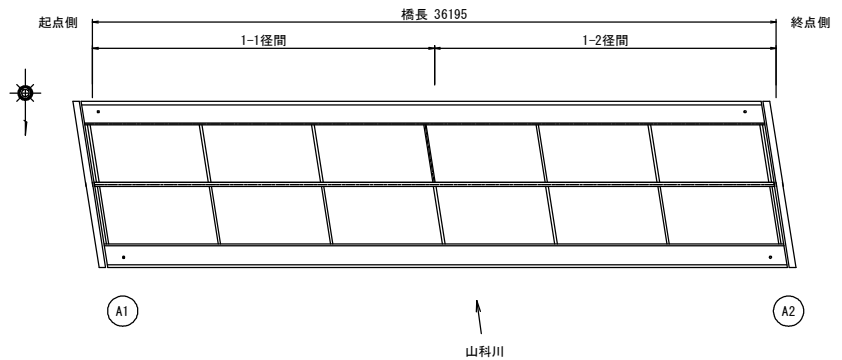
勸修寺橋 補修詳細図(1) S=1:50

ひび割れ補修工・断面修復工（桁下(1-1径間））

平面図



位置図 S=1:200



損傷の凡例		
記号	損傷の種類	表 示
	ひびわれ	
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
M	豆板	
	側面の損傷	

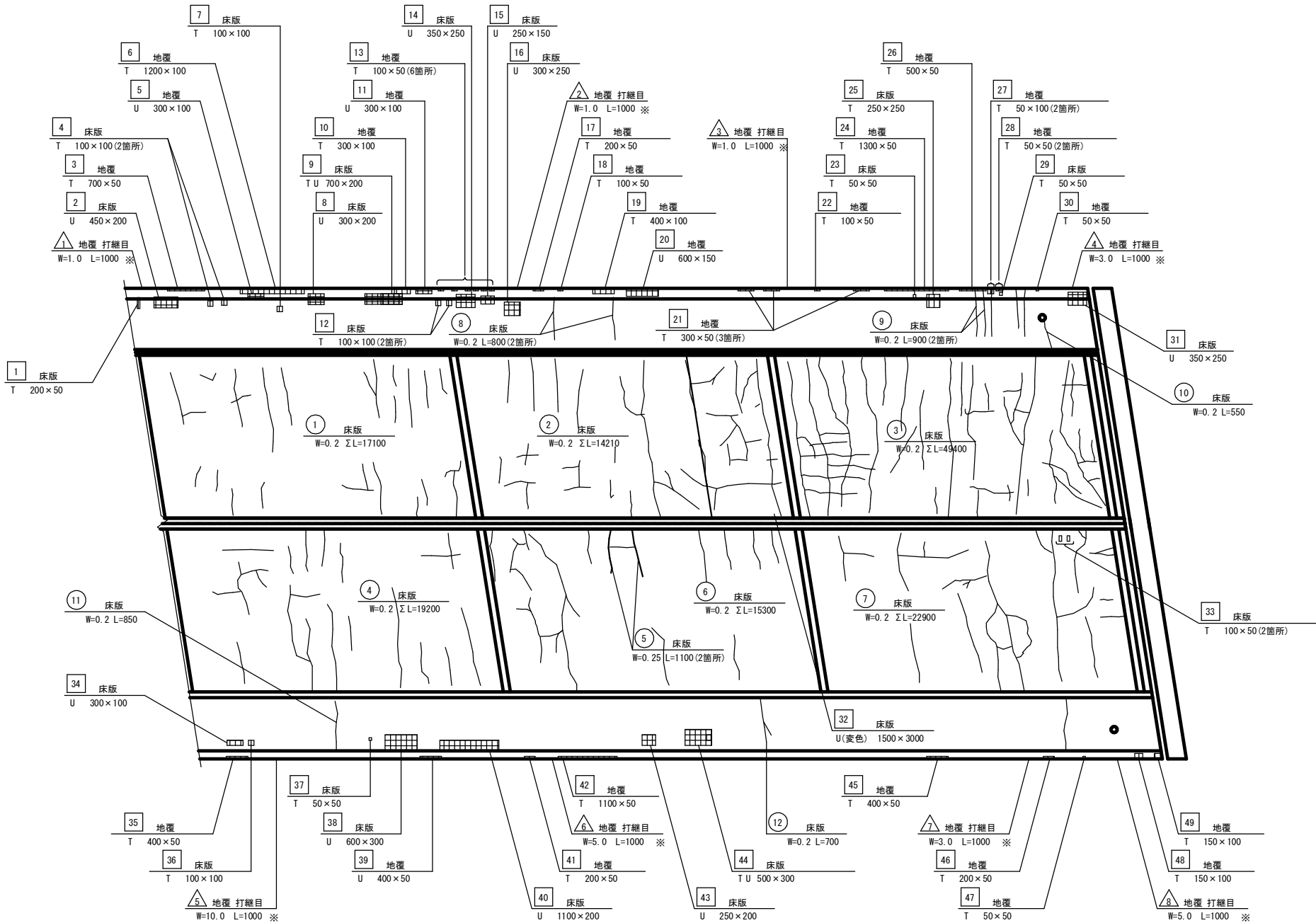
注記
1). うきと鉄筋露出が重なる箇所は、範囲の大きい方（うき）、深さの深い方（鉄筋露出）を補修範囲とする。
2). 損傷番号1～12は、各床版下面ブロックごとに損傷箇所のひびわれ延長を合計した推定値とする。
3). ※印箇所は、損傷寸法が不明なため 補修推定値とする。

工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(1)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	2/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

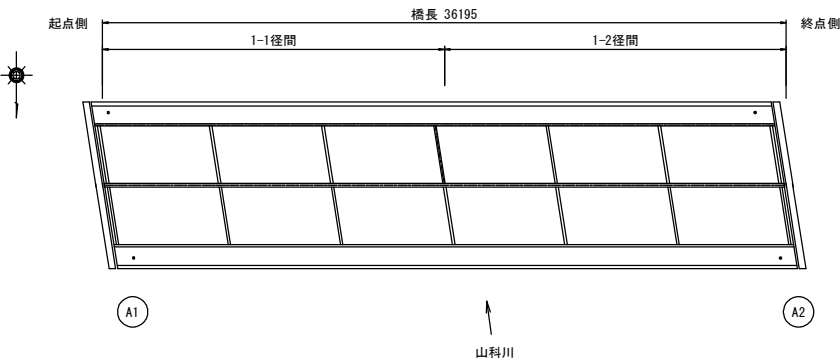
勸修寺橋 補修詳細図(2) S=1:50

ひび割れ補修工・断面修復工（桁下(1-2径間)）

平面図



位置図 S=1:200



損傷の凡例		
記号	損傷の種類	表 示
	ひびわれ	
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
M	豆板	
	側面の損傷	

注記
1). うきと鉄筋露出が重なる箇所は、範囲の大きい方（うき）、深さの深い方（鉄筋露出）を補修範囲とする。
2). 損傷番号1～12は、各床版下面ブロックごとに損傷箇所のひびわれ延長を合計した推定値とする。
3). ※印箇所は、損傷寸法が不明なため 補修推定値とする。

工 事 名	〈総合評価〉勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	3/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

勸修寺橋 補修詳細図(3) S=1:50

ひび割れ補修工・断面修復工（桁下）

断面修復工

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所数	面積(m2)	体積(m3)
桁下(1-1径間)							
1	有	0.150	0.100	0.050	1	0.015	0.0008
2	有	0.150	0.100	0.030	1	0.015	0.0005
3	有	0.250	0.200	0.030	1	0.050	0.0015
4	有	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
5	有	0.350	0.050	0.030	1	0.018	0.0005
6	有	0.400	0.350	0.030	1	0.140	0.0042
7	有	0.500	0.100	0.050	1	0.050	0.0025
8	有	0.500	0.350	0.050	1	0.175	0.0088
9	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
10	有	1.600	0.350	0.030	1	0.560	0.0168
11	有	0.100	0.150	0.050	1	0.015	0.0008
12	有	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
13	有	1.000	0.900	0.030	1	0.900	0.0270
14	有	1.200	1.000	0.030	1	1.200	0.0360
15	有	0.050	0.100	0.050	1	0.005	0.0003
16	有	0.200	0.300	0.050	1	0.060	0.0030
17	有	1.200	0.900	0.030	1	1.080	0.0324
18	有	0.250	0.100	0.050	1	0.025	0.0013
19	有	0.400	0.150	0.030	1	0.060	0.0018
20	有	0.200	0.100	0.050	1	0.020	0.0010
21	有	0.750	0.100	0.050	1	0.075	0.0038
22	有	1.100	0.400	0.050	1	0.440	0.0220
合 計 （防錆処理有）						4.926	0.1661

- 注記)
1. 鉄筋露出のはつり深さは20mm+30mm=50mmを基準とする。
但し、計測深さが基準値以上の場合は計測値をはつり深さとする。
2. うきのはつり深さは、30mmで統一する。
3. 剥離のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
4. 豆板のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
但し、深さ計測無し箇所については、はつり深さ30mmとする。

ひび割れ補修工
(低圧注入工法)

番号	ひびわれ幅 (m)	ひびわれ長 (m)	箇所	合計ひびわれ長 (m)
桁下(1-1径間)				
①	0.0002	43.600	1	43.600
②	0.0002	22.400	1	22.400
③	0.0002	17.700	1	17.700
④	0.0002	36.900	1	36.900
⑤	0.0002	21.100	1	21.100
⑥	0.0002	13.400	1	13.400
⑦	0.0002	0.900	3	2.700
⑧	0.0002	0.700	1	0.700
⑨	0.0002	0.500	1	0.500
⑩	0.0002	0.900	5	4.500
⑪	0.0002	0.300	1	0.300
⑫	0.0002	0.300	1	0.300
⑬	0.0002	0.850	3	2.550
⑭	0.0002	0.850	2	1.700
⑮	0.0003	0.300	1	0.300
小計				168.650

ひび割れ補修工
(充てん工法)

番号	ひびわれ幅 (m)	ひびわれ長 (m)	箇所	合計ひびわれ長 (m)
桁下(1-1径間)				
①	0.0030	1.000	1	1.000
②	0.0010	1.000	1	1.000
③	0.0030	1.000	1	1.000
④	0.0010	1.000	1	1.000
⑤	0.0020	1.000	1	1.000
⑥	0.0100	1.000	1	1.000
				6.000

断面修復工

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所数	面積(m2)	体積(m3)
桁下(1-2径間)							
1	有	0.200	0.050	0.050	1	0.010	0.0005
2	有	0.450	0.200	0.030	1	0.090	0.0027
3	有	0.700	0.050	0.050	1	0.035	0.0018
4	有	0.100	0.100	0.050	2	0.020	0.0010
5	有	0.300	0.100	0.030	1	0.030	0.0009
6	有	1.200	0.100	0.050	1	0.120	0.0060
7	有	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
8	有	0.300	0.200	0.030	1	0.060	0.0018
9	有	0.700	0.200	0.050	1	0.140	0.0070
10	有	0.300	0.100	0.050	1	0.030	0.0015
11	有	0.300	0.100	0.030	1	0.030	0.0009
12	有	0.100	0.100	0.050	2	0.020	0.0010
13	有	0.100	0.050	0.050	6	0.030	0.0015
14	有	0.350	0.250	0.030	1	0.088	0.0026
15	有	0.250	0.150	0.030	1	0.038	0.0011
16	有	0.300	0.250	0.030	1	0.075	0.0023
17	有	0.200	0.050	0.050	1	0.010	0.0005
18	有	0.100	0.050	0.050	1	0.005	0.0003
19	有	0.400	0.100	0.050	1	0.040	0.0020
20	有	0.600	0.150	0.030	1	0.090	0.0027
21	有	0.300	0.050	0.050	3	0.045	0.0023
22	有	0.100	0.050	0.050	1	0.005	0.0003
23	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
24	有	1.300	0.050	0.050	1	0.065	0.0033
25	有	0.250	0.250	0.050	1	0.063	0.0031
26	有	0.500	0.050	0.050	1	0.025	0.0013
27	有	0.050	0.100	0.050	2	0.010	0.0005
28	有	0.050	0.050	0.050	2	0.005	0.0003
29	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
30	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
31	有	0.350	0.250	0.030	1	0.088	0.0026
32	有	1.500	3.000	0.030	1	4.500	0.1350
33	有	0.100	0.050	0.050	2	0.010	0.0005
34	有	0.300	0.100	0.030	1	0.030	0.0009
35	有	0.400	0.050	0.050	1	0.020	0.0010
36	有	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
37	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
38	有	0.600	0.300	0.030	1	0.180	0.0054
39	有	0.400	0.050	0.030	1	0.020	0.0006
40	有	1.100	0.200	0.030	1	0.220	0.0066
41	有	0.200	0.050	0.050	1	0.010	0.0005
42	有	1.100	0.050	0.050	1	0.055	0.0028
43	有	0.250	0.200	0.030	1	0.050	0.0015
44	有	0.500	0.300	0.050	1	0.150	0.0075
45	有	0.400	0.050	0.050	1	0.020	0.0010
46	有	0.200	0.050	0.050	1	0.010	0.0005
47	有	0.050	0.050	0.050	1	0.003	0.0001
48	有	0.150	0.100	0.050	1	0.015	0.0008
49	有	0.150	0.100	0.050	1	0.015	0.0008
合 計 （防錆処理有）						6.608	0.2187

- 注記)
1. 鉄筋露出のはつり深さは20mm+30mm=50mmを基準とする。
但し、計測深さが基準値以上の場合は計測値をはつり深さとする。
2. うきのはつり深さは、30mmで統一する。
3. 剥離のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
4. 豆板のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
但し、深さ計測無し箇所については、はつり深さ30mmとする。

ひび割れ補修工
(低圧注入工法)

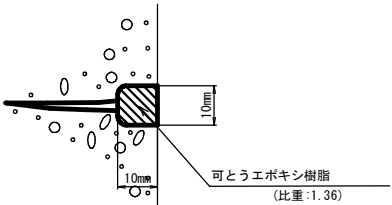
番号	ひびわれ幅 (m)	ひびわれ長 (m)	箇所	合計ひびわれ長 (m)
桁下(1-1径間)				
①	0.0002	17.100	1	17.100
②	0.0002	14.210	1	14.210
③	0.0002	49.400	1	49.400
④	0.0002	19.200	1	19.200
⑤	0.00025	1.100	2	2.200
⑥	0.0002	15.300	1	15.300
⑦	0.0002	22.900	1	22.900
⑧	0.0002	0.800	2	1.600
⑨	0.0002	0.900	2	1.800
⑩	0.0002	0.550	1	0.550
⑪	0.0002	0.850	1	0.850
⑫	0.0002	0.700	1	0.700
小計				145.810

ひび割れ補修工
(充てん工法)

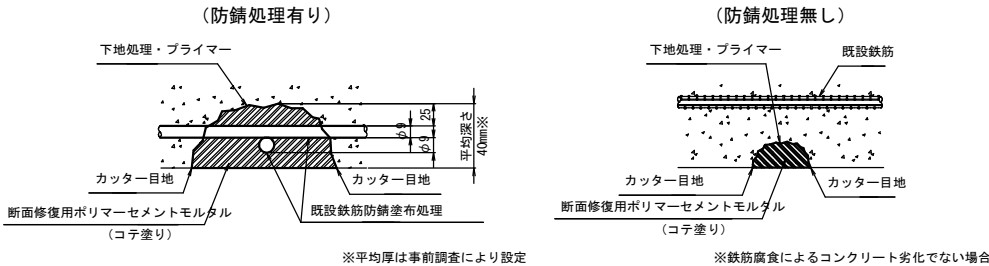
番号	ひびわれ幅 (m)	ひびわれ長 (m)	箇所	合計ひびわれ長 (m)
桁下(1-2径間)				
①	0.0010	1.000	1	1.000
②	0.0010	1.000	1	1.000
③	0.0010	1.000	1	1.000
④	0.0030	1.000	1	1.000
⑤	0.0100	1.000	1	1.000
⑥	0.0050	1.000	1	1.000
⑦	0.0030	1.000	1	1.000
⑧	0.0050	1.000	1	1.000
				8.000

ひび割れ補修工(充てん工法)詳細図

(ひび割れ幅 1.0mm以上)



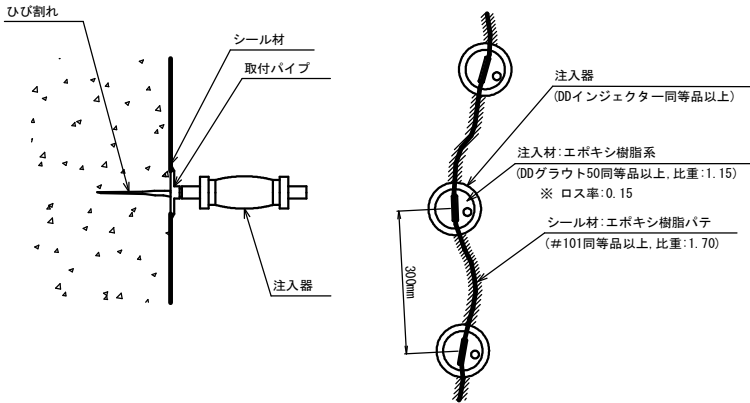
断面修復工詳細図



- 断面修復工特記事項
1. 施工に先立ち、補修箇所、数量を必ず再確認すること。
2. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
3. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
4. 断面修復の平均厚は、劣化コンクリート除去後に計測し決定すること。
計測結果については、監督職員へ報告し了承を得ること。
5. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図

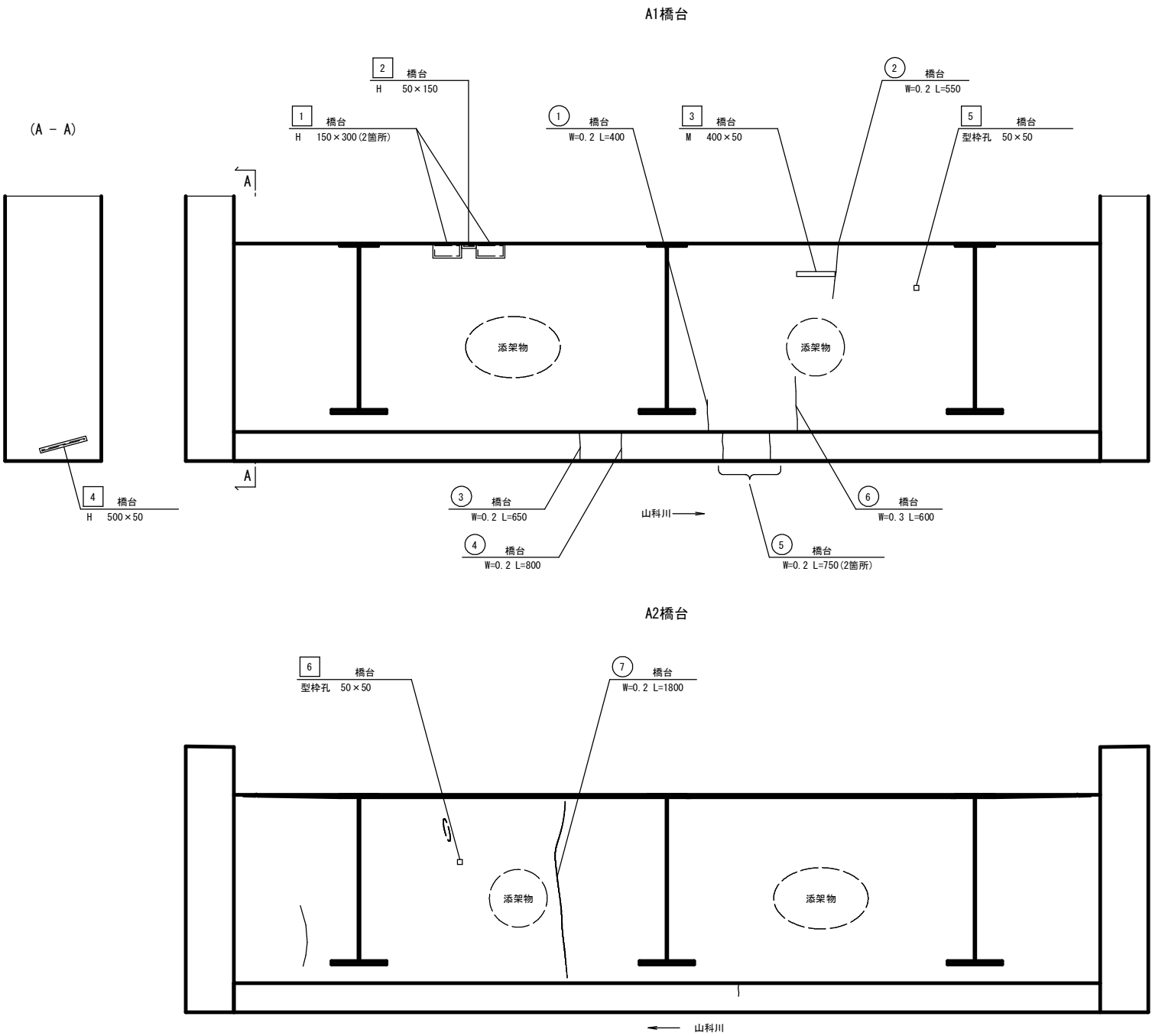
(ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)



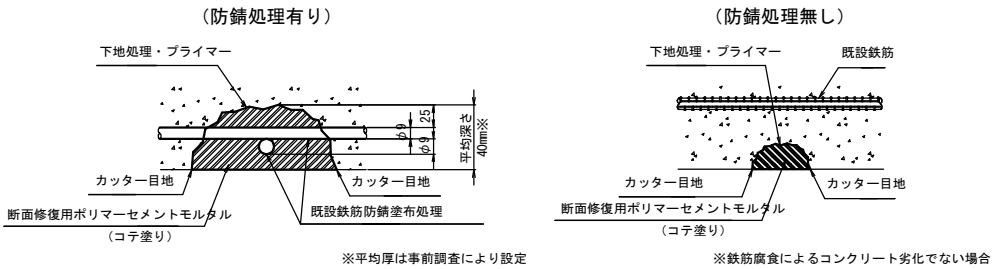
工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(3)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	4/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

勸修寺橋 補修詳細図(4) S=1:30

ひび割れ補修工・断面修復工（下部工）



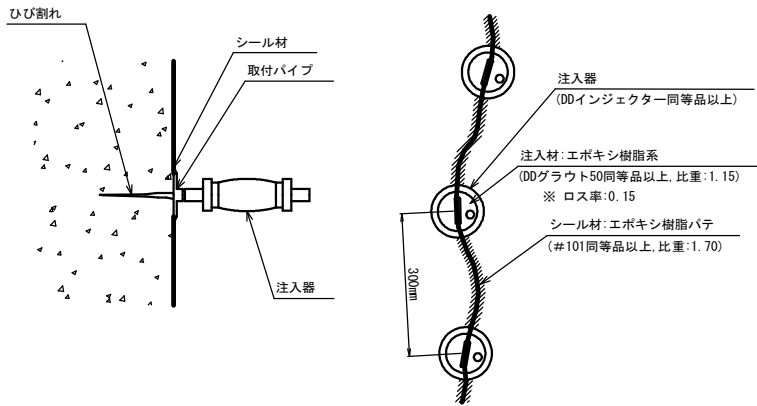
断面修復工詳細図



- 断面修復工特記事項
- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
 - 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
 - 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋・充袋の数量により決定すること。
空袋・充袋については、監督職員の了承を得ること。
 - 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図

(ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)



ひび割れ補修工
(低圧注入工法)

番号	ひびわれ幅 (m)	ひびわれ長 (m)	箇所	合計ひびわれ長 (m)
下部工				
①	0.0002	0.400	1	0.400
②	0.0002	0.550	1	0.550
③	0.0002	0.650	1	0.650
④	0.0002	0.800	1	0.800
⑤	0.0002	0.750	2	1.500
⑥	0.0003	0.600	1	0.600
⑦	0.0002	1.800	1	1.800
	小計			6.300

断面修復工

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所数	面積(m2)	体積(m3)
下部工							
1	無	0.150	0.300	0.020	2	0.090	0.0018
2	無	0.050	0.150	0.020	1	0.008	0.0002
3	無	0.400	0.050	0.010	1	0.020	0.0002
4	無	0.500	0.050	0.050	1	0.025	0.0013
5	無	0.050	0.050	0.400	1	0.003	0.0010
6	無	0.050	0.050	0.250	1	0.003	0.0006
合 計 (防錆処理無)						0.149	0.0051

- 注記)
- 鉄筋露出のはつり深さは20mm+30mm=50mmを基準とする。
但し、計測深さが基準値以上の場合は計測値をはつり深さとする。
 - うきのはつり深さは、30mmで統一する。
 - 剥離のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
 - 豆板のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
但し、深さ計測無し箇所については、はつり深さ30mmとする。

断面修復工・ひび割れ補修工 合計

工 種	種 別	仕 様	単位	数量	備 考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	320.8	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	3.6	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	32.7	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	1,080	
ひび割れ補修工 充てん工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	14.0	
	充てん材	可とう性エポキシ樹脂	kg	0.6	ロス率を含まない。
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.385	RIS322エース同等品以上。
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	"	m3	0.005	RIS322エース同等品以上。

損傷の凡例

記号	損傷の種類	表 示
	ひびわれ	
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
M	豆板	
	側面の損傷	

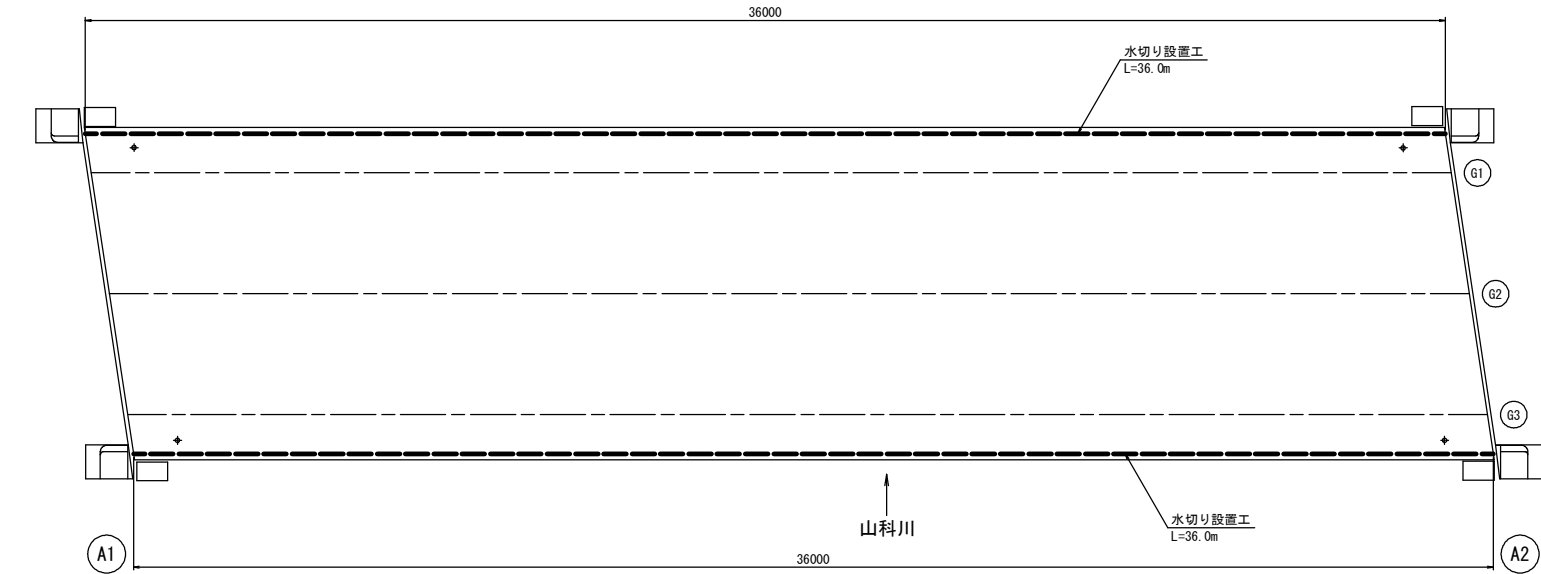
工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(4)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	5/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

勸修寺橋 補修詳細図(5)

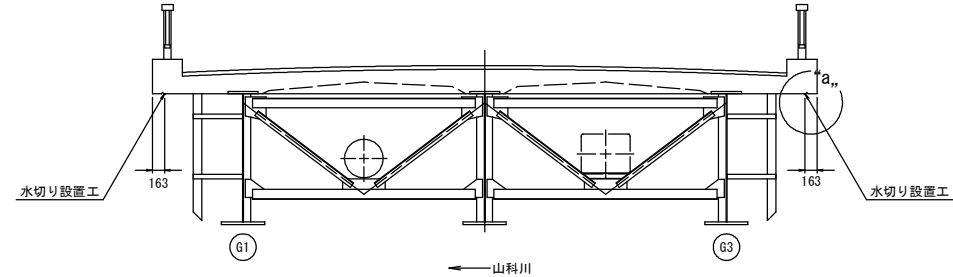
水切り設置工



平面図 S=1:100

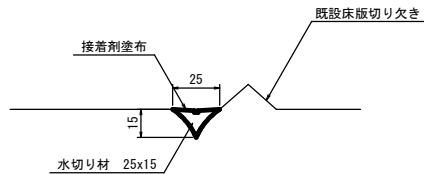


断面図 S=1:50



水切り材断面詳細図 S=1:2

a 部詳細図



水切り材数量総括表

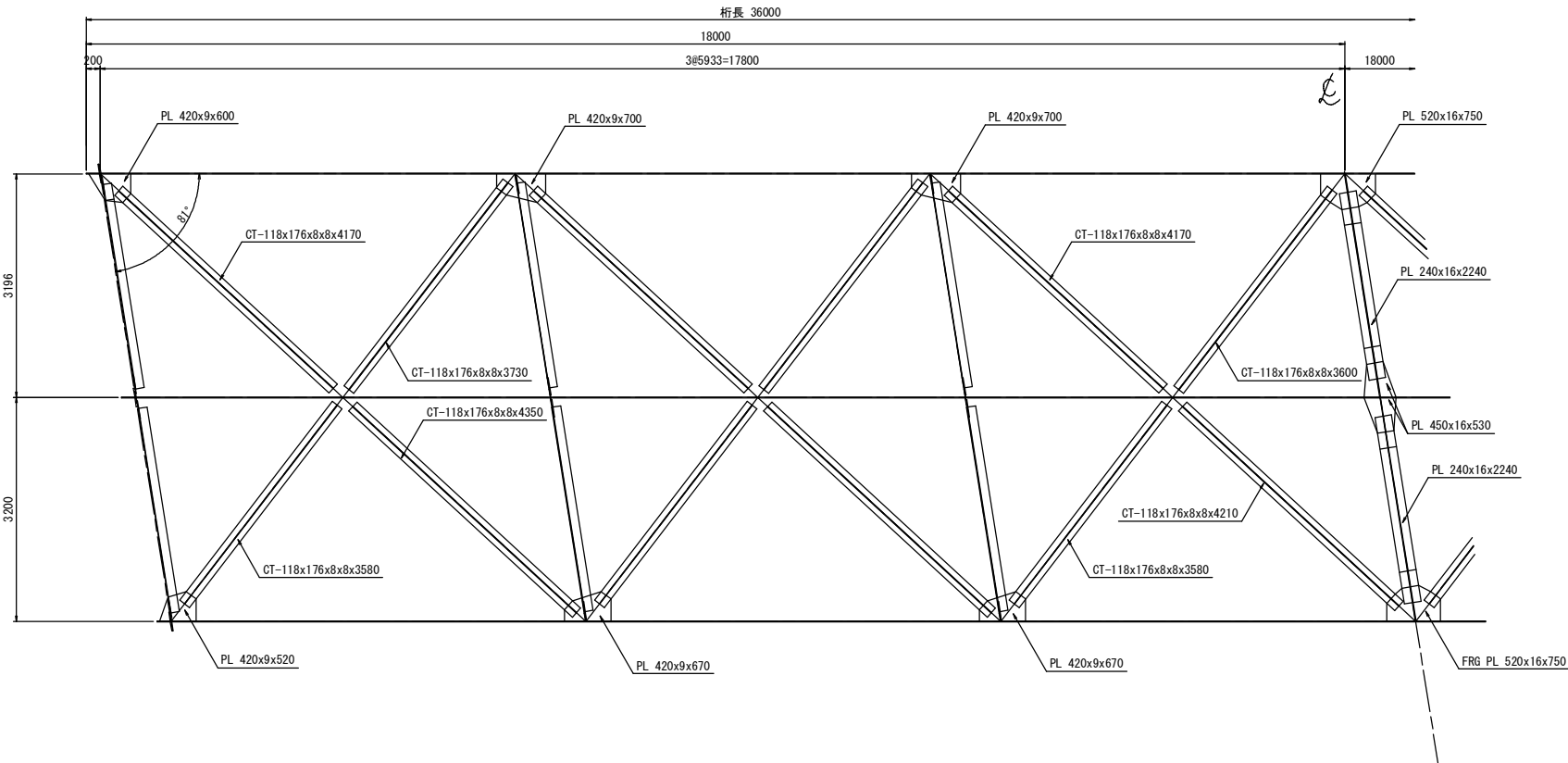
項 目		単位	数 量	摘 要
水切り材延長	ウォーターカッター同等品以上	m	72.0	EPDM系ゴム

工 事 名	〈総合評価〉勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(5)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	6/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

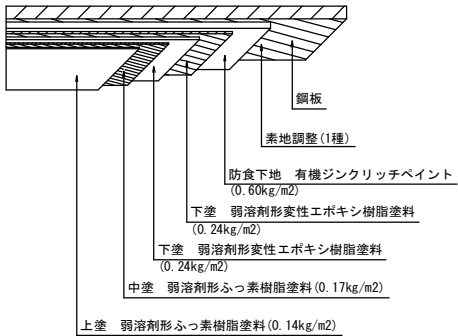
勸修寺橋 補修詳細図(6)

橋梁塗装工(主桁・横桁・下横構)

平面図 S=1:50



Rc-I塗装系



Rc-I塗装系(スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量(kg/m2)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	1種. プラスト面形成動力工具		4時間以内
2	防食下地	有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ² 2	1日~10日
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ² 2	1日~10日
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ² 2	1日~10日
5	中塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	0.17kg/m ² 2	1日~10日
6	上塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	0.14kg/m ² 2	1日~10日

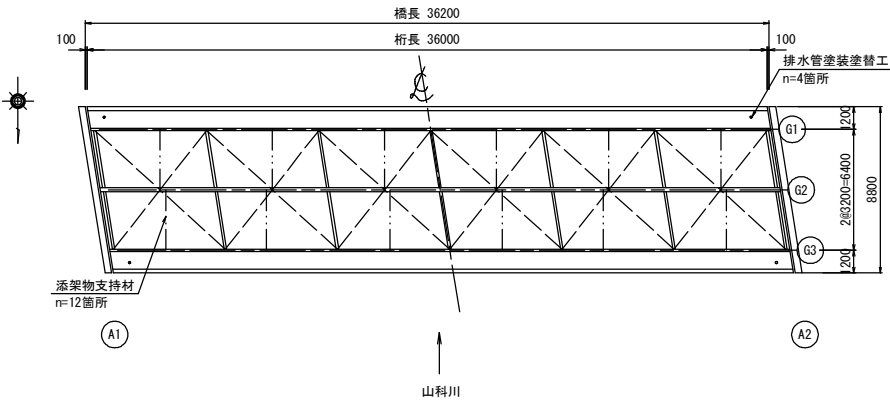
鋼道路橋防食便覧 P.11~118

橋梁塗装工

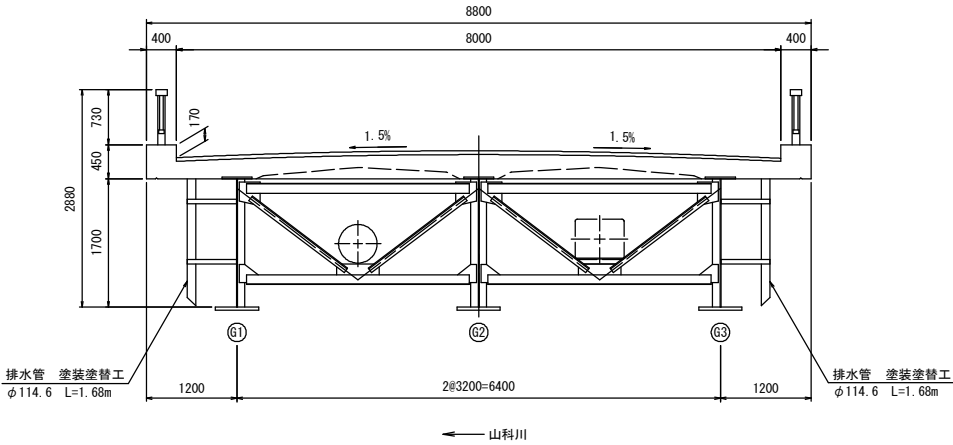
(1橋当たり)

工 種	名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
橋梁塗装工	塗装		m2	730.7	
	素地調整		m2	730.7	循環式プラスト工法

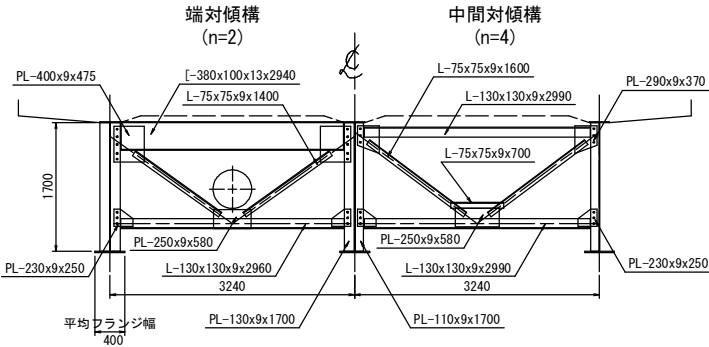
位置図 S=1:200



断面図 S=1:50

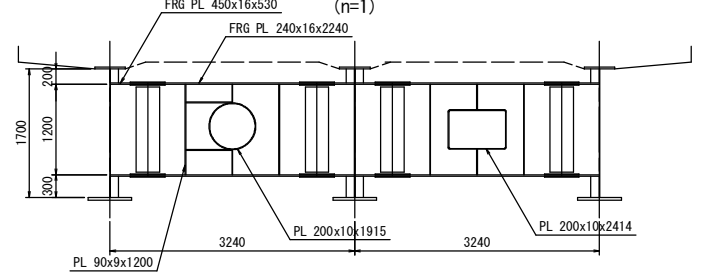


横桁詳細図 S=1:50



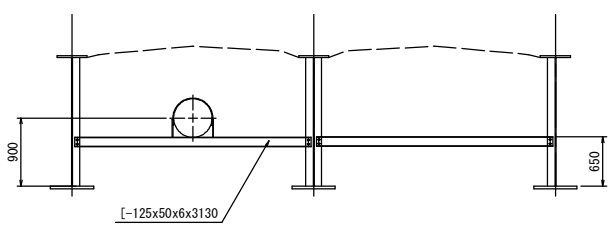
分配横桁

(n=1)



添架物支持材

(n=12)

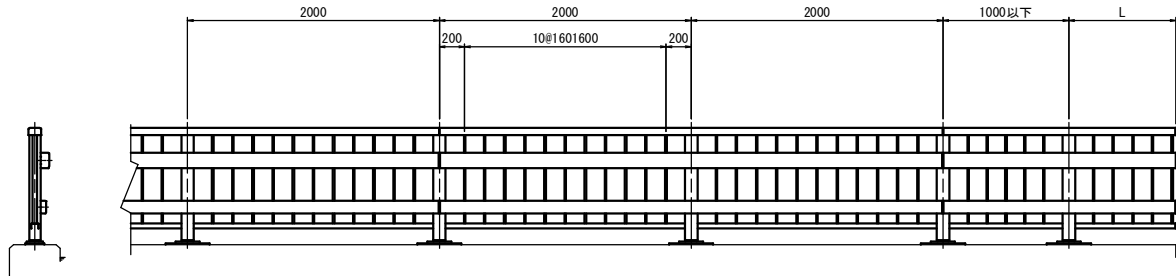


工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(6)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	7/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

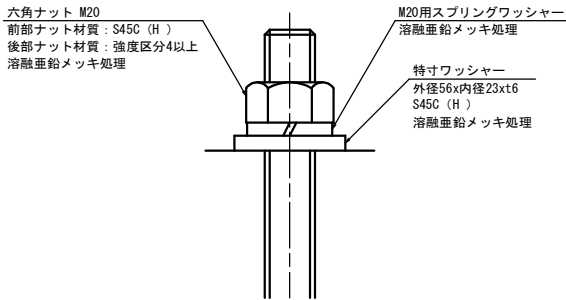
勸修寺橋 補修詳細図(7)

橋梁用高欄工

姿 図 S=1:30



アンカーナット締め付け部 S=1:3



高欄兼用車両防護柵取付詳細図 S=1:6

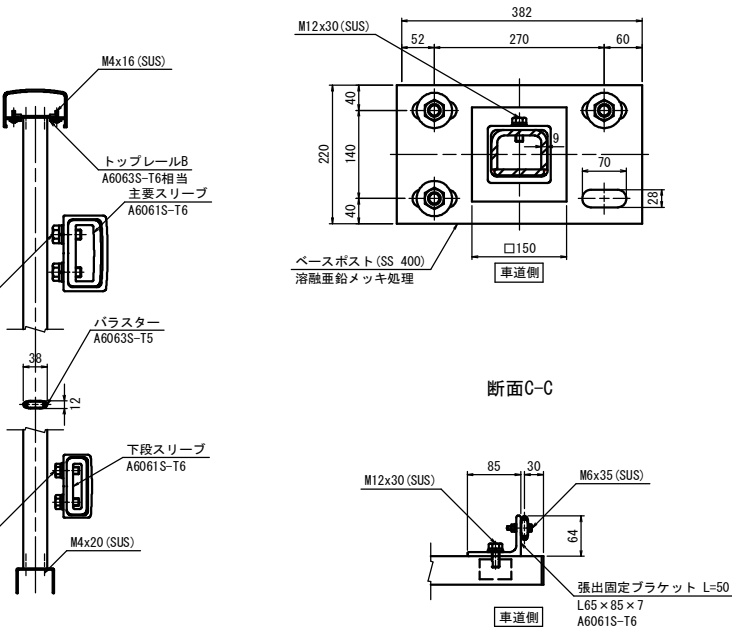
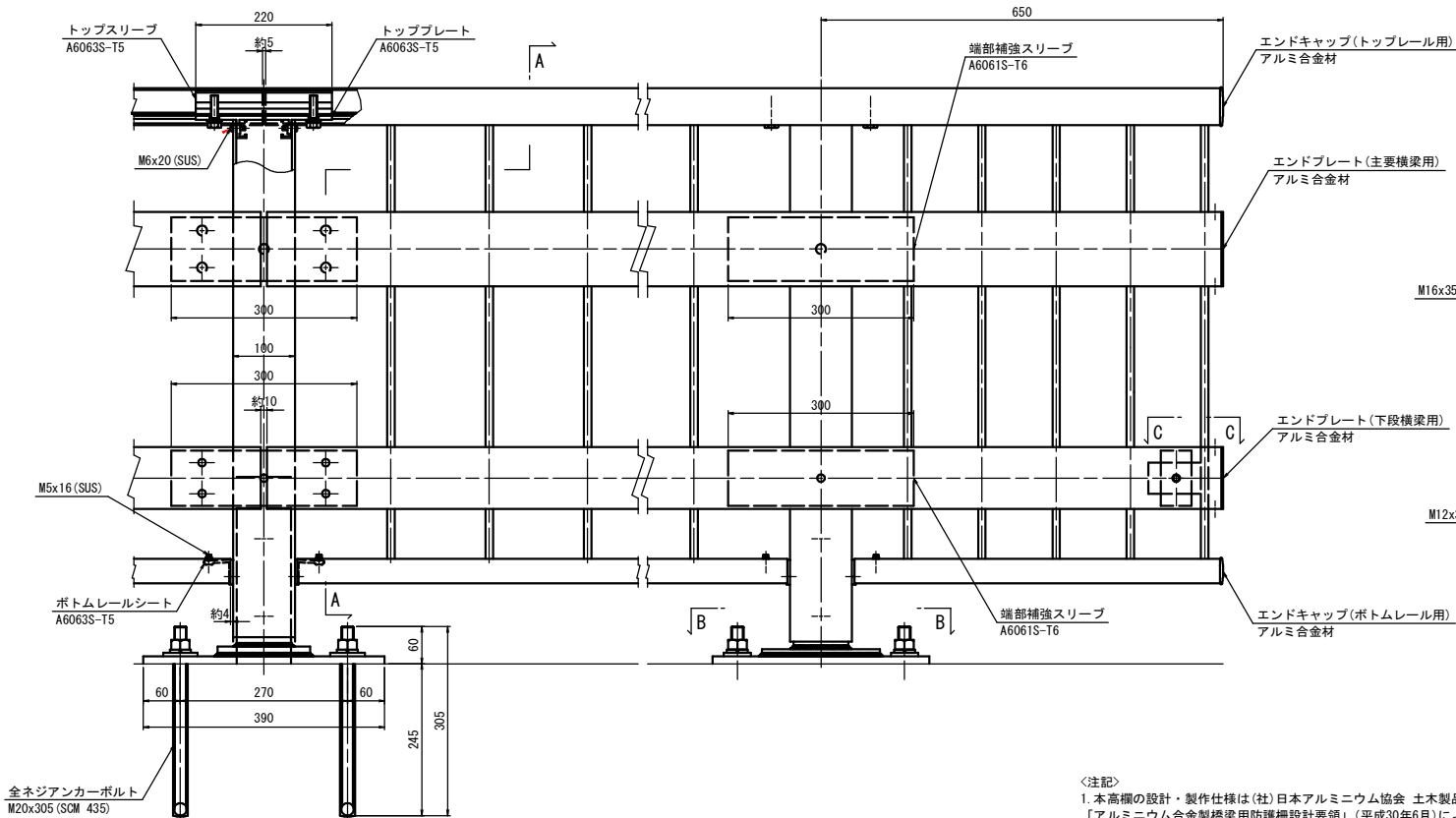
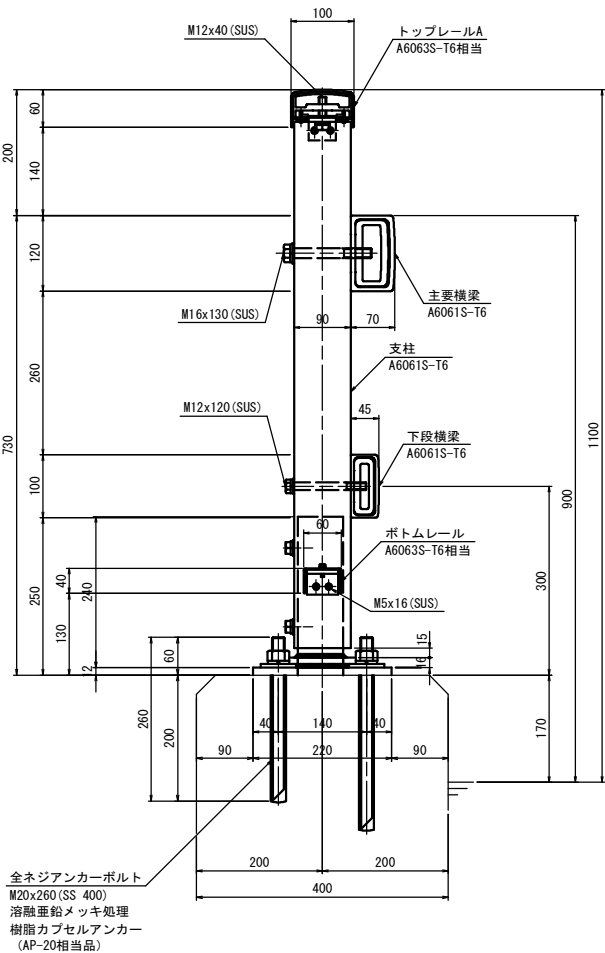
種別 C種

継手部

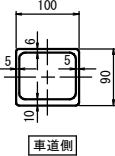
端 部

断面A-A

断面B-B



支柱断面図



- 〈注記〉
1. 本高欄の設計・製作仕様は(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成30年6月)による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」(平成27年3月)による。
 2. 高欄の表面処理は、打合せの上決定の事。
 3. 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。
 4. ボルト、ビス類のSUS材は塩害対策処理とする。
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

材料表

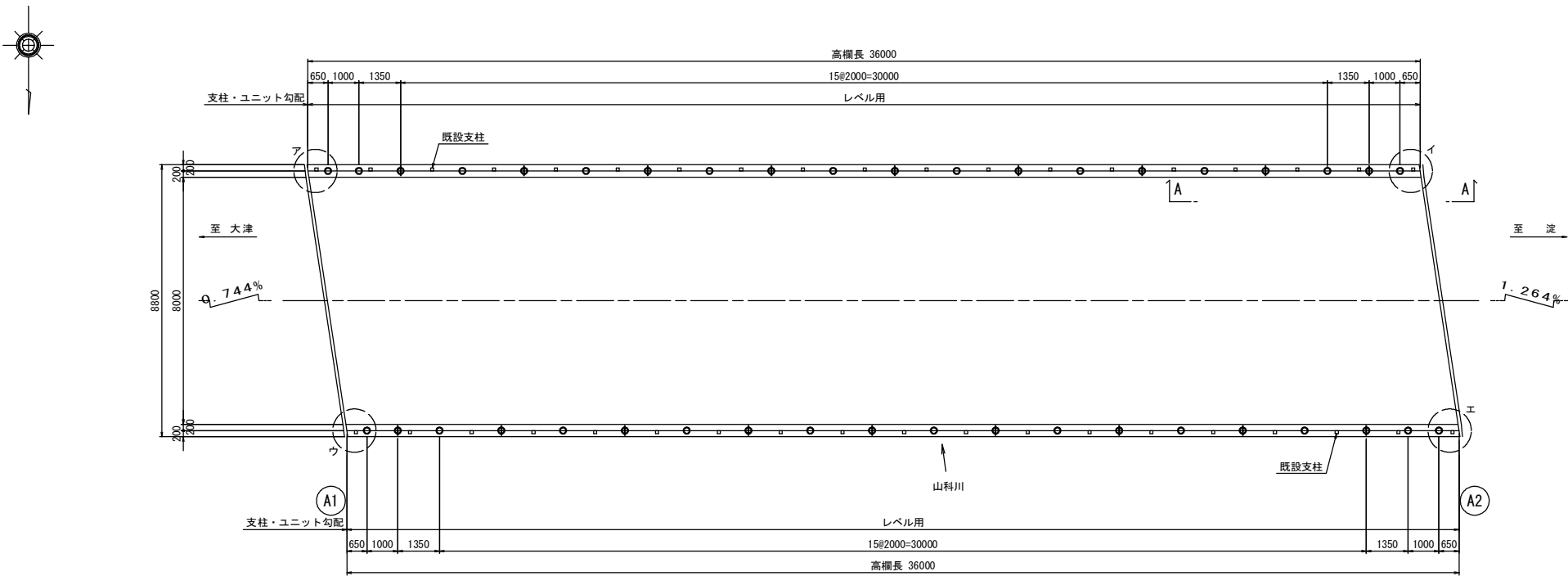
材料表								(12M当たり)
部番	名称	寸 度	数 量	単 重	1 本 当	総重量	材 質	備 考
1	主要横梁	3990.0	3	6.671	26.62	79.9	A6061S-T6	
2	下段横梁	3990.0	3	3.558	14.20	42.6	A6061S-T6	
3	トップレールA	3995.0	3	1.979	7.91	23.7	A6063S-T6相当	
4	トップレールB	1995.0	6	0.891	1.78	10.7	A6063S-T6相当	
5	支柱	843.0	6	6.492	5.47	32.8	A6061S-T6	
6	主要スリーブ	50.0	3	7.589	0.38	1.1	A6061S-T6	
	主要スリーブ	300.0	3	7.589	2.28	6.8	A6061S-T6	
7	下段スリーブ	50.0	3	4.902	0.25	0.8	A6061S-T6	
	下段スリーブ	300.0	3	4.902	1.47	4.4	A6061S-T6	
8	トップスリーブ	220.0	6	3.084	0.68	4.1	A6063S-T5	
9	トッププレート	43.0	6	4.706	0.20	1.2	A6063S-T5	
10	バラスト	715.0	66	0.362	0.26	17.2	A6063S-T5	
11	ボトムレール	1892.0	6	0.824	1.56	9.4	A6063S-T6相当	
12	ボトムシート	50.0	12	1.171	0.06	0.7	A6063S-T5	
13	六角ボルト	M12x40	12		0.06	0.7	SUS	W1, SW1
14	六角ボルト	M12x120	6		0.13	0.8	SUS	W1, SW1
15	六角ボルト	M12x30	24		0.05	1.2	SUS	W1, SW1
16	六角ボルト	M16x130	6		0.26	1.6	SUS	W1, SW1
17	六角ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	SUS	W1, SW1
18	十字穴付き六角ボルト	M5x16	12		0.004	-	SUS	W1, SW1
19	なべタッピンネジ	M6x20	24		0.01	0.2	SUS	
20	トラスタッピンネジ	M5x16	24		0.003	0.1	SUS	
21	トラスタッピンネジ	M4x16	36		0.002	0.1	SUS	
22	なべタッピンネジ (2種)	M4x20	264		0.002	0.5	SUS	
23	ベースポスト		6		13.22	79.3	SS400	
24	全ネジアンカーボルト	M20x305	12		0.75	9.0	SCM435	N1, φ56W1, SW1
25	全ネジアンカーボルト	M20x260	12		0.68	8.2	SS400	N1, φ56W1, SW1
26	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12		-	-		
27	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		-	-		
					総重量	338.4	Kg/12m当たり	
					M当り	28.2	Kg/m	

工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図 (7)		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	8/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

勸修寺橋 補修詳細図(8)

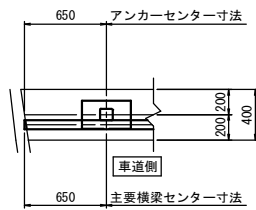
橋梁用高欄工

平面図 S=1:60

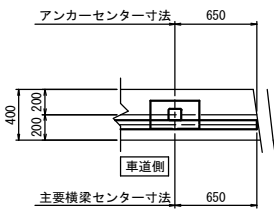


＜注記＞
1. 記入寸法はポストセンター押えとし、実長で示す。
2. 図中○印は支柱取付位置を示し、Φ印は横梁材継手部を示す。
3. 寸法、勾配等は確認のこと。

ア部(エ部)詳細図 S=1:30

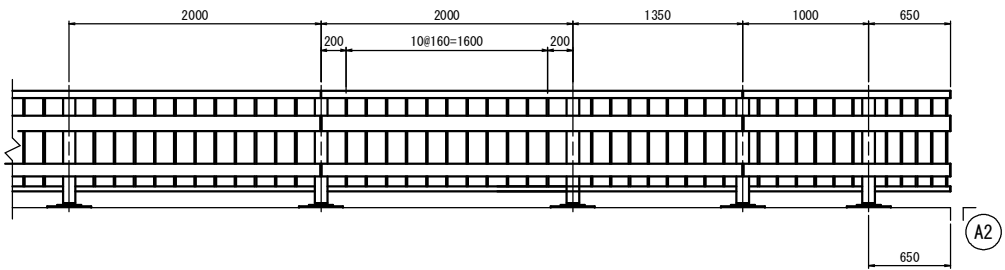


イ部(ウ部)詳細図 S=1:30



姿図 S=1:30

A-A

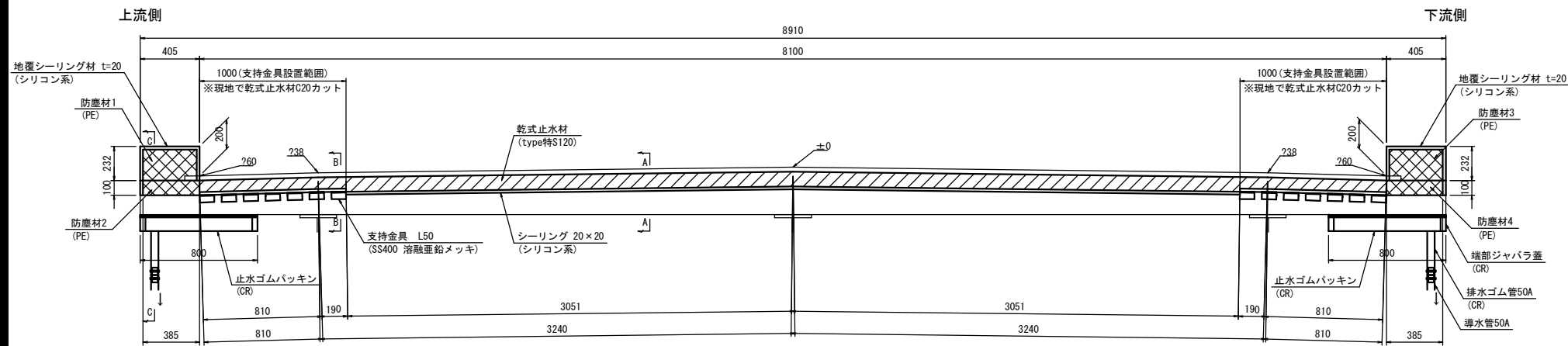


工 事 名	〈総合評価〉勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	勸修寺橋 補修詳細図(8)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	9/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

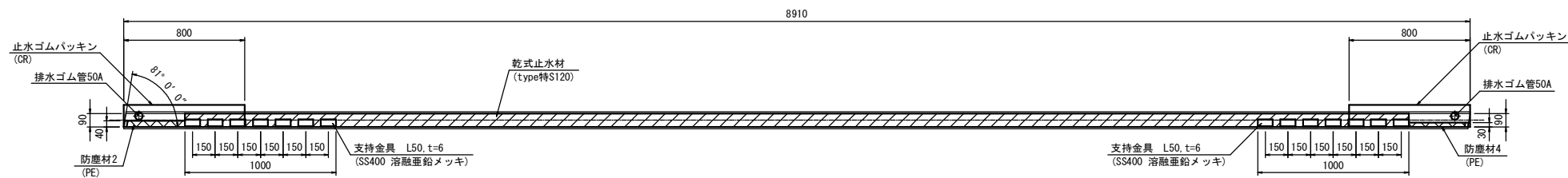
勸修寺橋 補修詳細図(9)

伸縮継手工 (A1側)

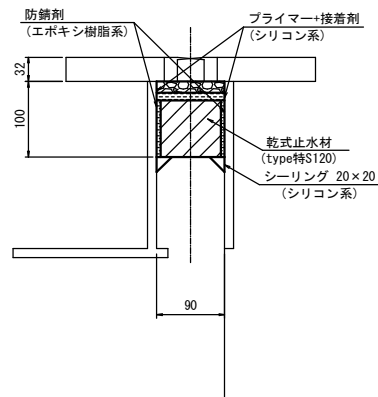
横断面図 S=1:20



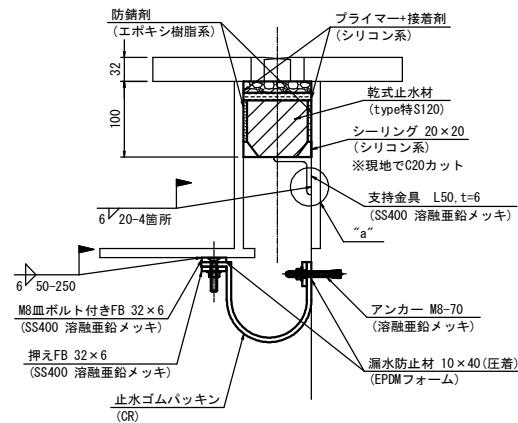
平面图 S=1:20



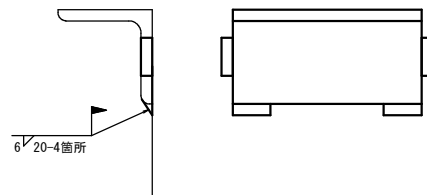
A-A断面図 S=1:5



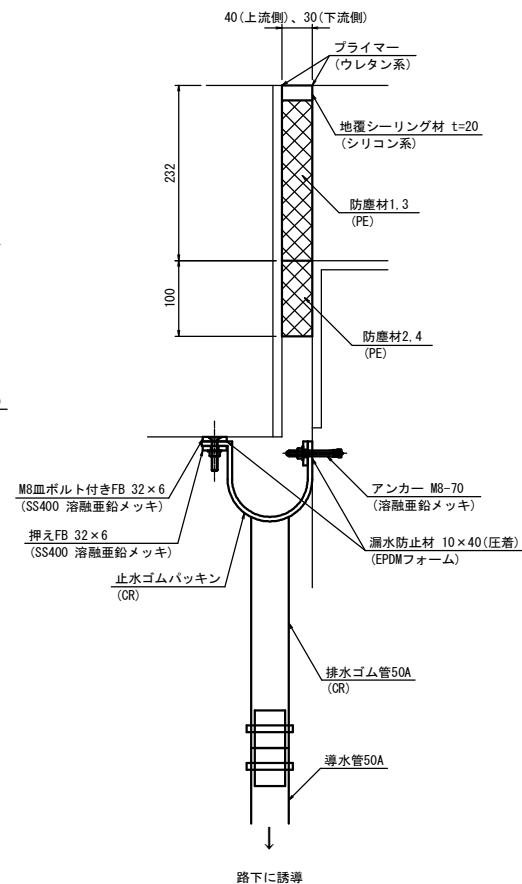
B-B断面図 S=1:5



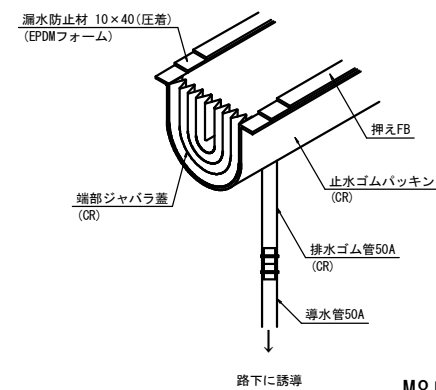
“a” 部詳細図 S=1:2
溶接範囲



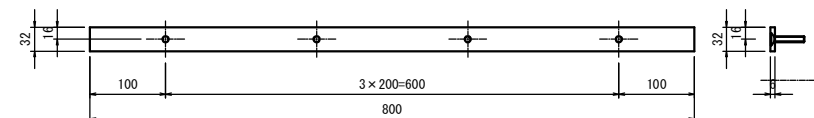
C-C断面図 S=1:5



端部ジャバラ蓋詳細図

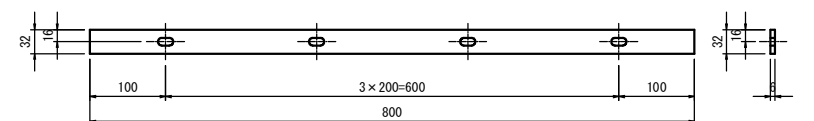


M8皿ボルト付きFB S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ

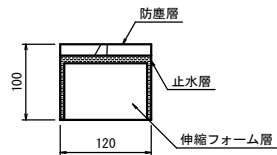


押えFB S=1:5

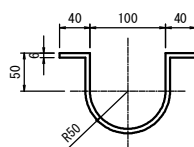
SS400 溶融亜鉛メッキ



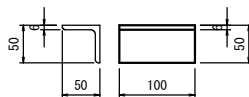
乾式止水材 S=1:5
type特S120



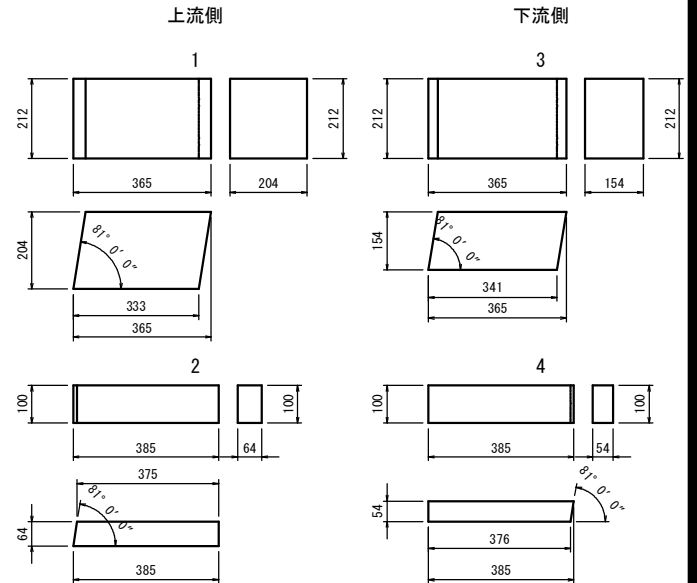
止水ゴムパッキン S=1:5
タイプ α200



支持金具 S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ



防塵材 S=1:10



数量表

品 名	規 格	単位	数 量	備 考
乾式止水材	type特S120 100×120	m	8.100	
防塵材	ポリエチレン系	㏍	30.021	
防錆剤	エポキシ樹脂系	kg	0.691	
プライマー	シリコン系	kg	0.115	
接着剤	シリコン系	kg	2.072	
シーリング材	シリコン系	㏍	3.240	
プライマー	ウレタン系	㏍	0.002	地覆部用
地覆シーリング材	シリコン系	㏍	5.450	地覆部用
支持金具	SS400 溶融亜鉛メッキ L50×6	個	14	
M8皿ボルト付きFB	SS400 溶融亜鉛メッキ 32×6	m	3.200	
押えFB	SS400 溶融亜鉛メッキ 32×6	m	3.200	
止水ゴムパッキン	CR タイプα200	m	1.600	
端部ジャバラ蓋	CR タイプM	個	4	
排水ゴム管	CR 50A×300	個	2	
導水管	50A×2m	本	2	継手金具2set含む
漏水防止材	EPDMフォーム 10×40	m	3.200	
アンカー	溶融亜鉛メッキ M8-70	個	8	
ナット	溶融亜鉛メッキ M8	set	16	(Uナット1、平ワッシャ)1/set

〈注記〉

1. 現地調査を実施した上で部材制作、施工位置を決めること。
2. 導水管の流末方法は現地調査の上、協議をし決定すること。
3. 下地処理は2種ケレン程度とする。

M8皿ボルト付きFB S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ

押えFB S=1:5

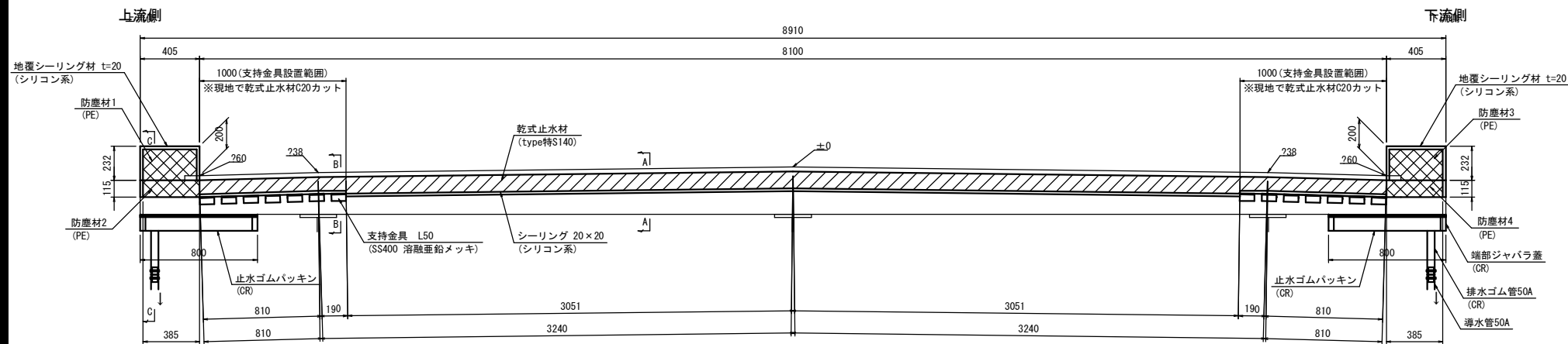
SS400 溶融亜鉛メッキ

工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北町地他内		
図 面 名	勤修寺橋 補修詳細図(9)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	10/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

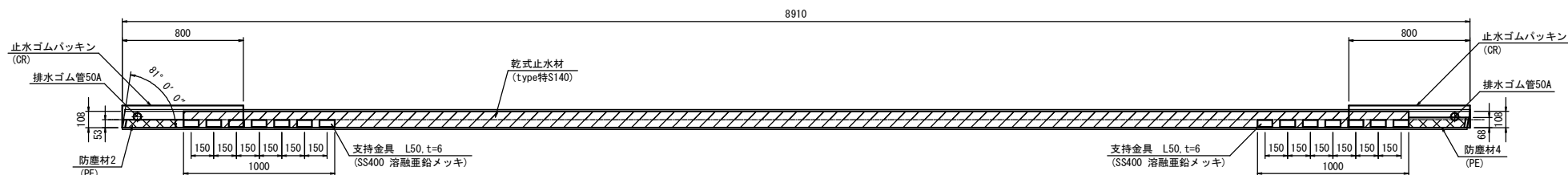
勸修寺橋 補修詳細図(10)

伸縮継手工 (A2側)

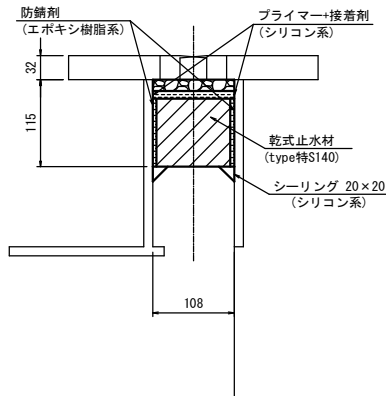
横断面図 S=1:20



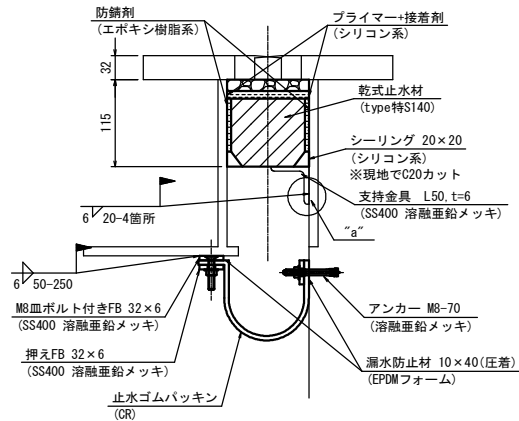
平面图 S=1:20



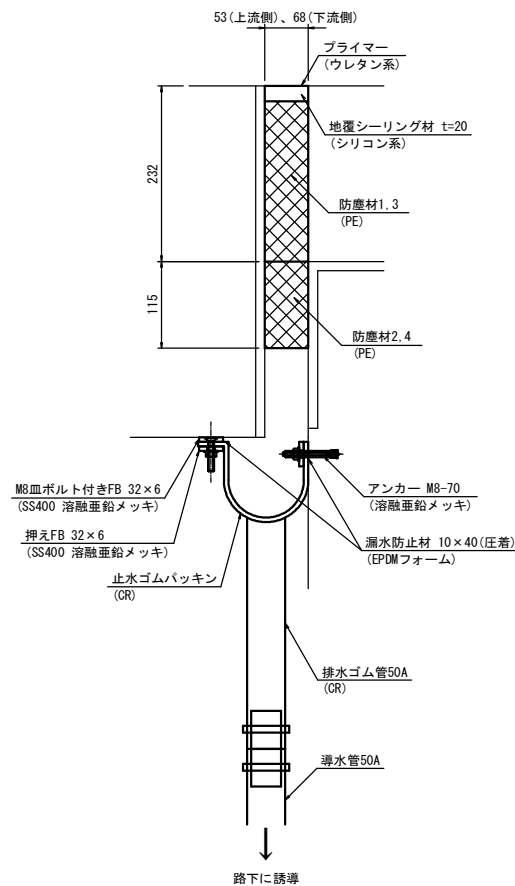
A-A断面図 S=1:5



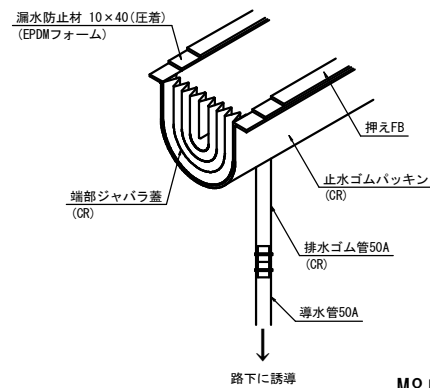
B-B断面图 S=1:5



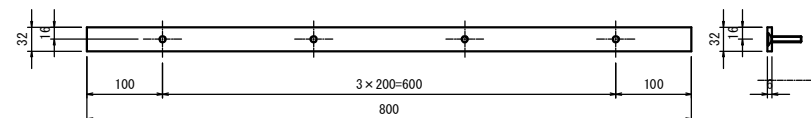
C-C断面图 S=1:5



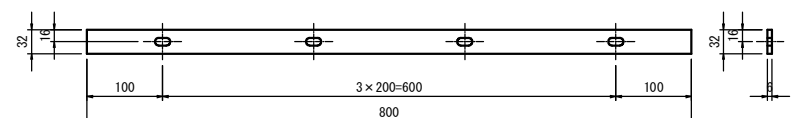
端部ジャバラ蓋詳細図



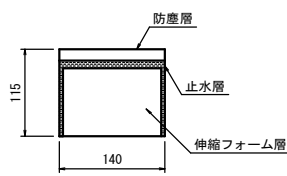
M8皿ボルト付きFB S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ



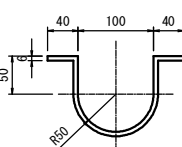
押えFB S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ



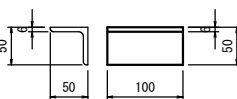
乾式止水材 S=1:5
type特S140



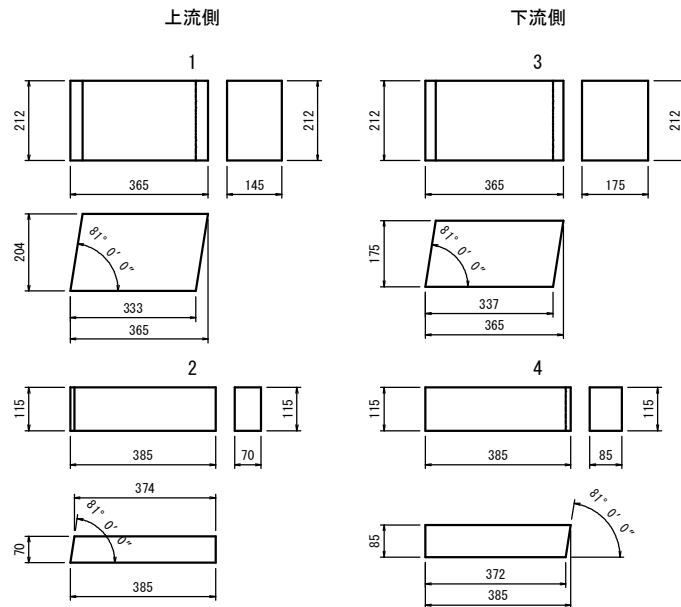
止水ゴムパッキン S=1:5
タイプ α200



支持金具 S=1:5
SS400 溶融亜鉛メッキ



防塵材 S=1:10



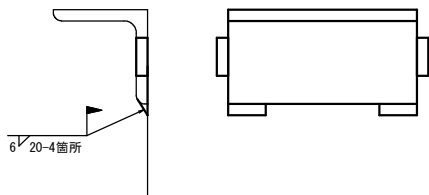
数量表

品 名	規 格	単位	数 量	備 考
乾式止水材	type特S140 115×140	m	8.100	
防塵材	ポリエチレン系	㏍	29.771	
防錆剤	エポキシ樹脂系	kg	0.771	
プライマー	シリコン系	kg	0.128	
接着剤	シリコン系	kg	2.313	
シーリング材	シリコン系	㏍	3.240	
プライマー	ウレタン系	㏍	0.002	地覆部用
地覆シーリング材	シリコン系	㏍	5.290	地覆部用
支持金具	SS400 溶融亜鉛メッキ L50×6	個	14	
M8皿ボルト付きFB	SS400 溶融亜鉛メッキ 32×6	m	3.200	
押入FB	SS400 溶融亜鉛メッキ 32×6	m	3.200	
止水ゴムパッキン	CR タイプα200	m	1.600	
端部ジャバラ蓋	CR タイプM	個	4	
排水ゴム管	CR 50A×300	個	2	
導水管	50A×2m	本	2	継手金具2set含む
漏水防止材	EPDMフォーム 10×40	m	3.200	
アンカー	溶融亜鉛メッキ M8-70	個	8	
ナット	溶融亜鉛メッキ M8	set	16	(Uナット1、平ワッシャ1)/1set

＜注記＞

1. 現地調査を実施した上で部材制作、施工位置を決めること。
2. 導水管の流末方法は現地調査の上、協議をし決定すること。
3. 下地処理は2種ケレン程度とする。

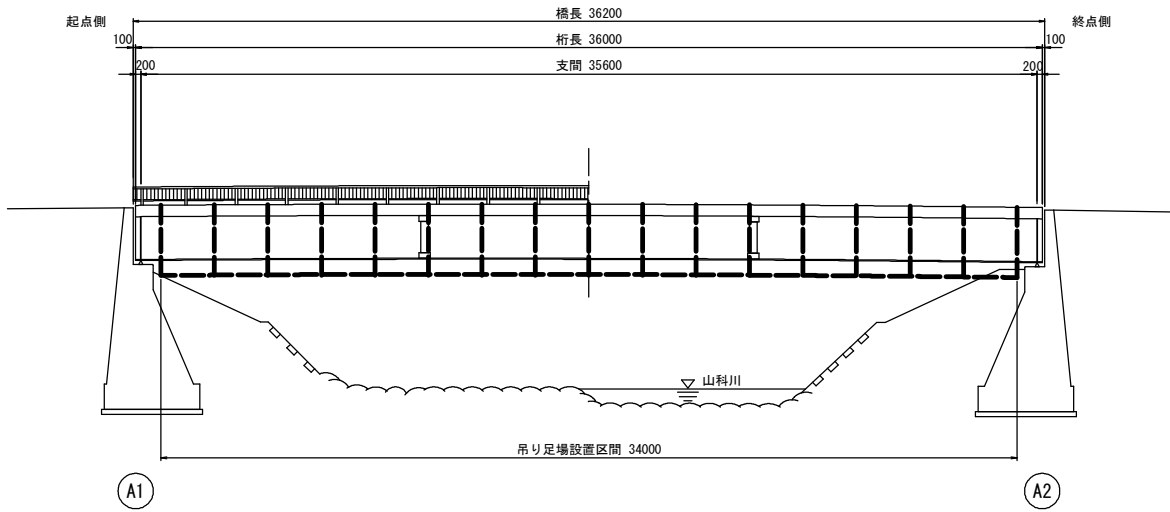
“a” 部詳細図 S=1:2
溶接範囲



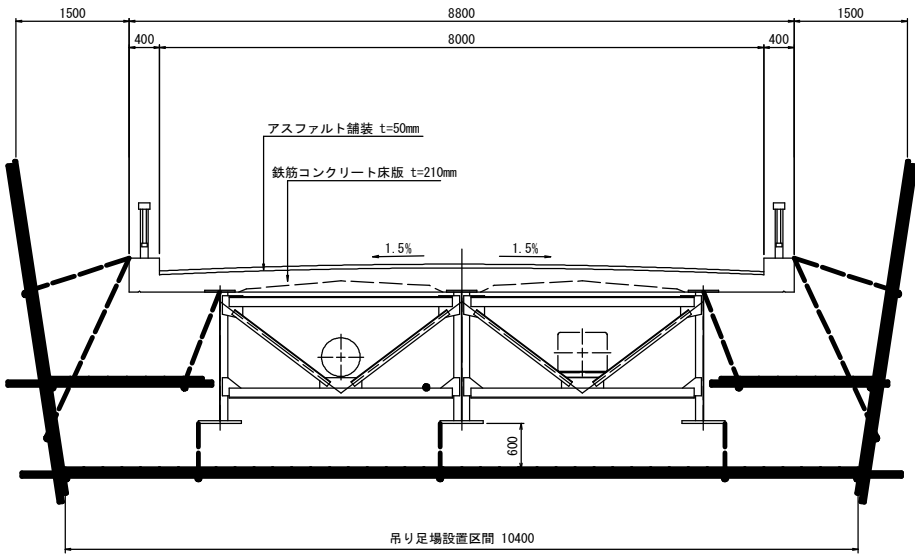
工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北出町他地内		
図 面 名	勤修寺橋 補修詳細図(10)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	11/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

<参考図> 勸修寺橋 吊足場一般図

側面図 S=1:150

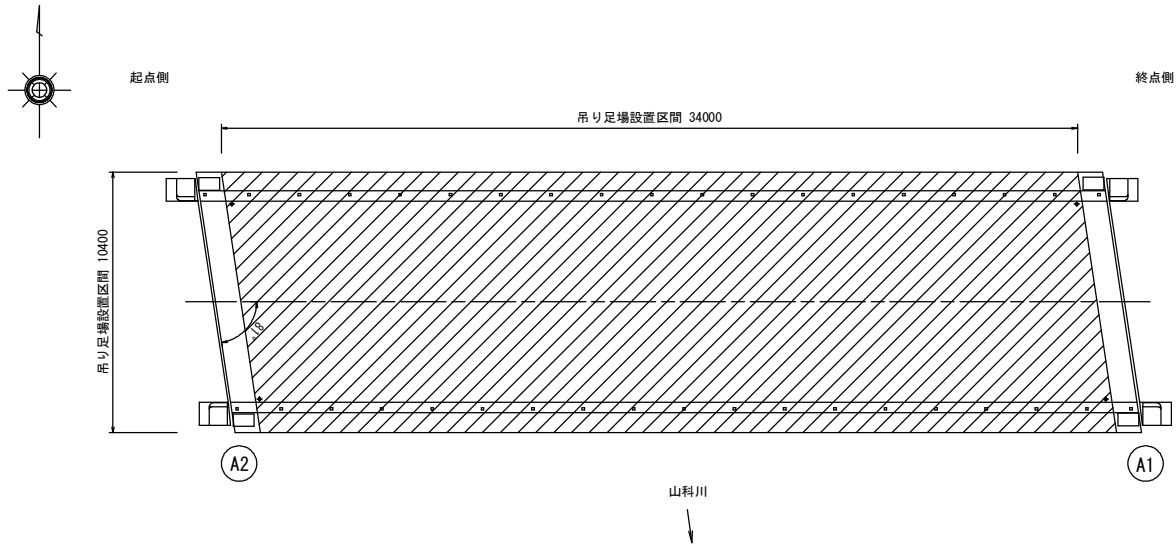


断面図 S=1:50



主体足場＋両側朝顔＋板張防護＋シート張防護＋床版シート張防護

平面図 S=1:150



補修用足場工数量表

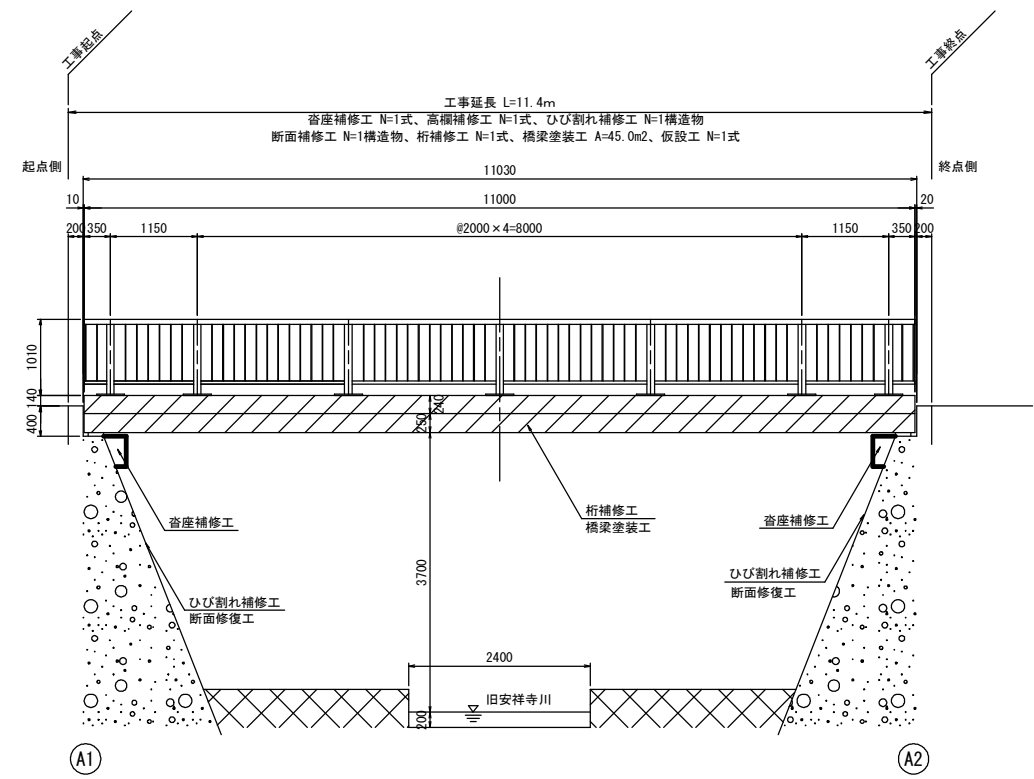
工 種	種 別	単 位	数 量	備 考
吊足場	吊足場(桁高h≧1.5、中段足場含む)	m2	353.6	足場工・朝顔(両側朝顔)・板張工(両側朝顔)・床版シート張防護
プラスト用養生シート	養生回数1回	m2	353.6	

- <注記>
- 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。
 - 塗膜に有害物質が含まれるため、塗膜剥離・素地調整施工時等は、塗膜が飛散しないように環境へ配慮した対応を行うこと。
 - 吊足場には、足場工・朝顔(両側朝顔)・板張工(両側朝顔)・床版シート張防護が含まれている。
 - 吊足場の供用期間は、5ヶ月を想定している。
 - 素地調整時には、プラスト用養生シート工により養生を行うこと。
 - プラスト用養生シート工は、養生回数1回と想定している。

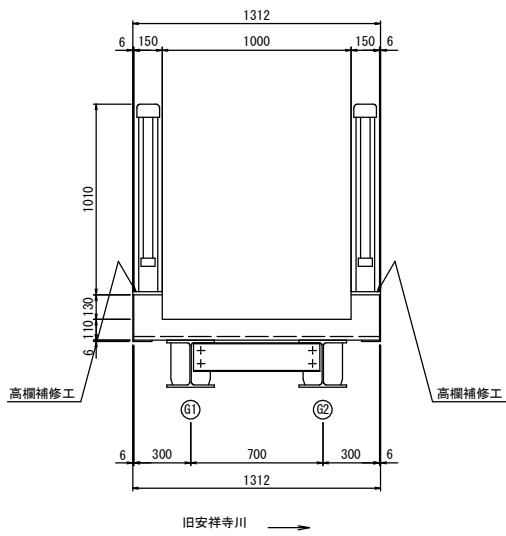
工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	<参考図> 勸修寺橋 吊足場一般図		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	12/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

南畑人道橋 補修一般図

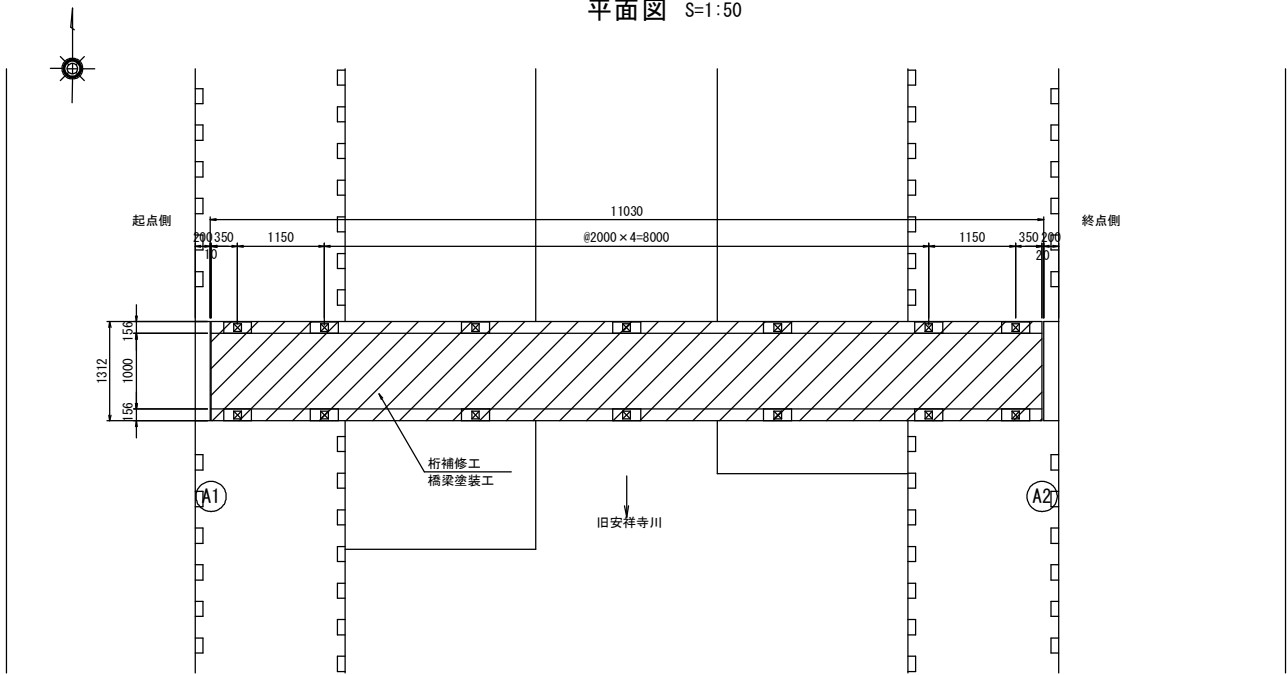
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



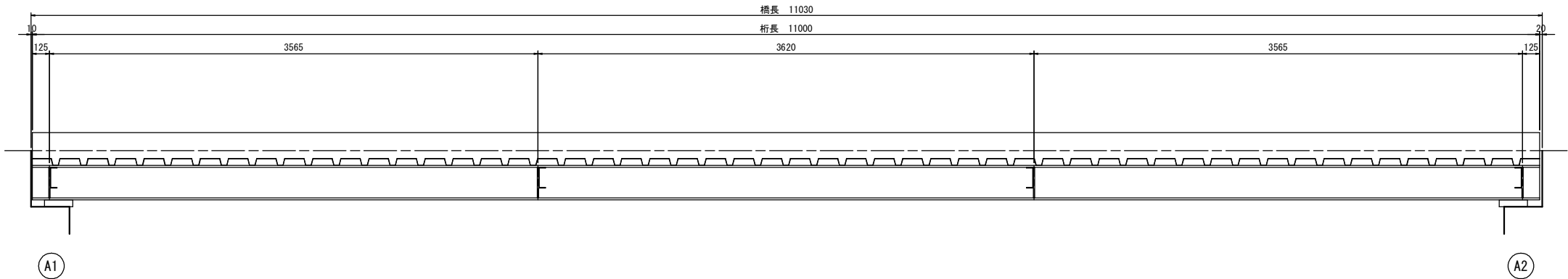
橋 梁 諸 元	
橋 梁 形 式	単純H形鋼橋
適 用 示 方 書	鋼道路橋設計示方書(昭和14年)
設 計 荷 重	—
橋 長	11.030m
桁 長	11.000m
全 幅 員	1.312m
有 効 幅 員	1.000m
下 部 工 形 式	重力式橋台
基 礎 形 式	不明
竣 工 年 月	昭和30年(1955年)

工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修一般図		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	13/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

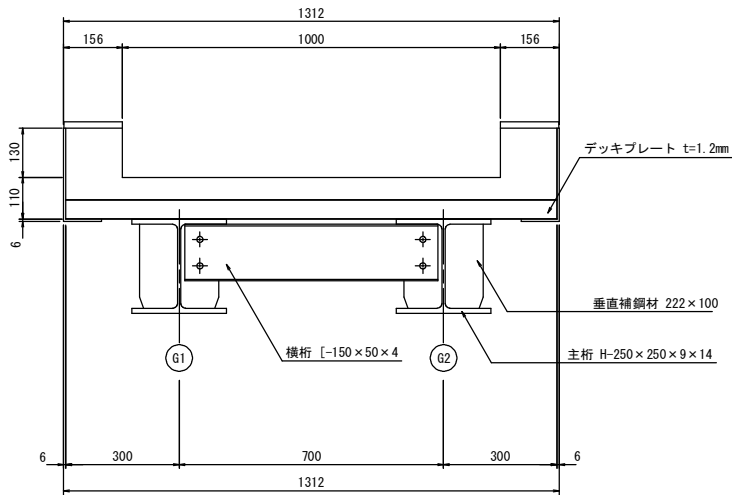
南畑人道橋 補修詳細図(1)

橋梁塗装工(主桁・横桁・デッキ床版)

側面図 S=1:20



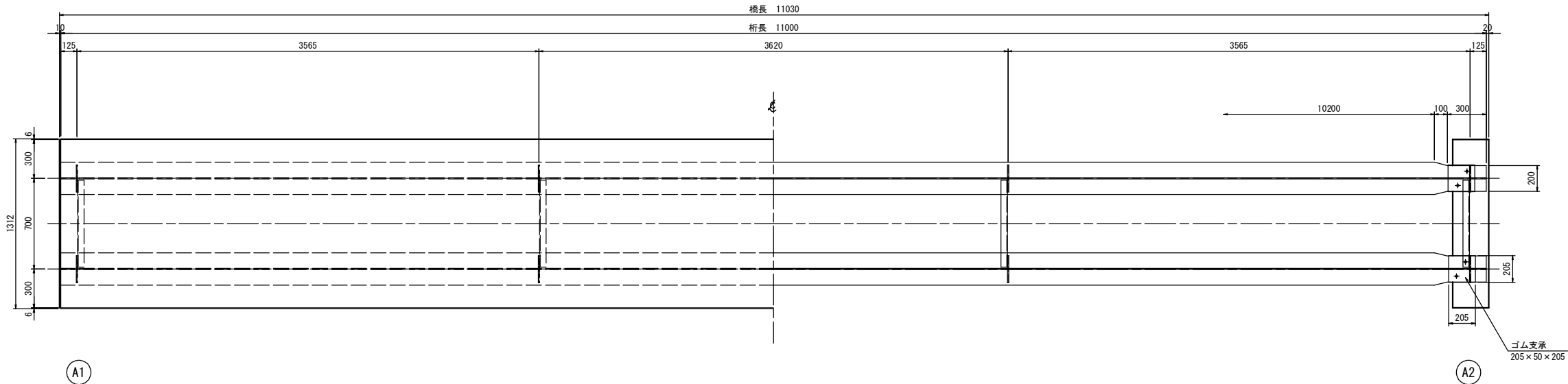
断面図 S=1:10



平面図 S=1:20

上フランジ部

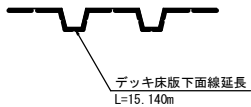
下フランジ部



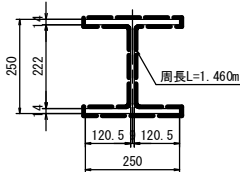
旧安祥寺川

部材詳細図 S=1:10

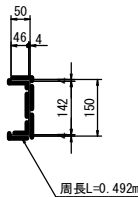
デッキ床版



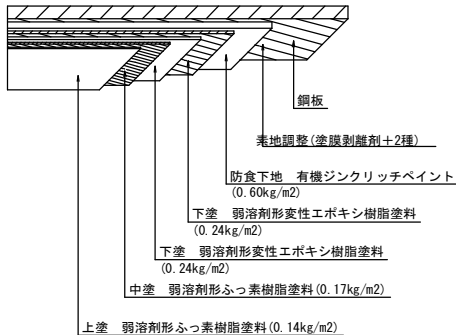
主桁
(n=2)



横桁
(n=4)



Rc-I 塗装系



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量(kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	塗膜剥離剤+2種ケレン		4時間以内
2	防食下地	有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ² 2	75μm
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ² 2	60μm
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ² 2	60μm
5	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m ² 2	30μm
6	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m ² 2	25μm

鋼道路橋防食便覧 P.11~118

橋梁塗装工

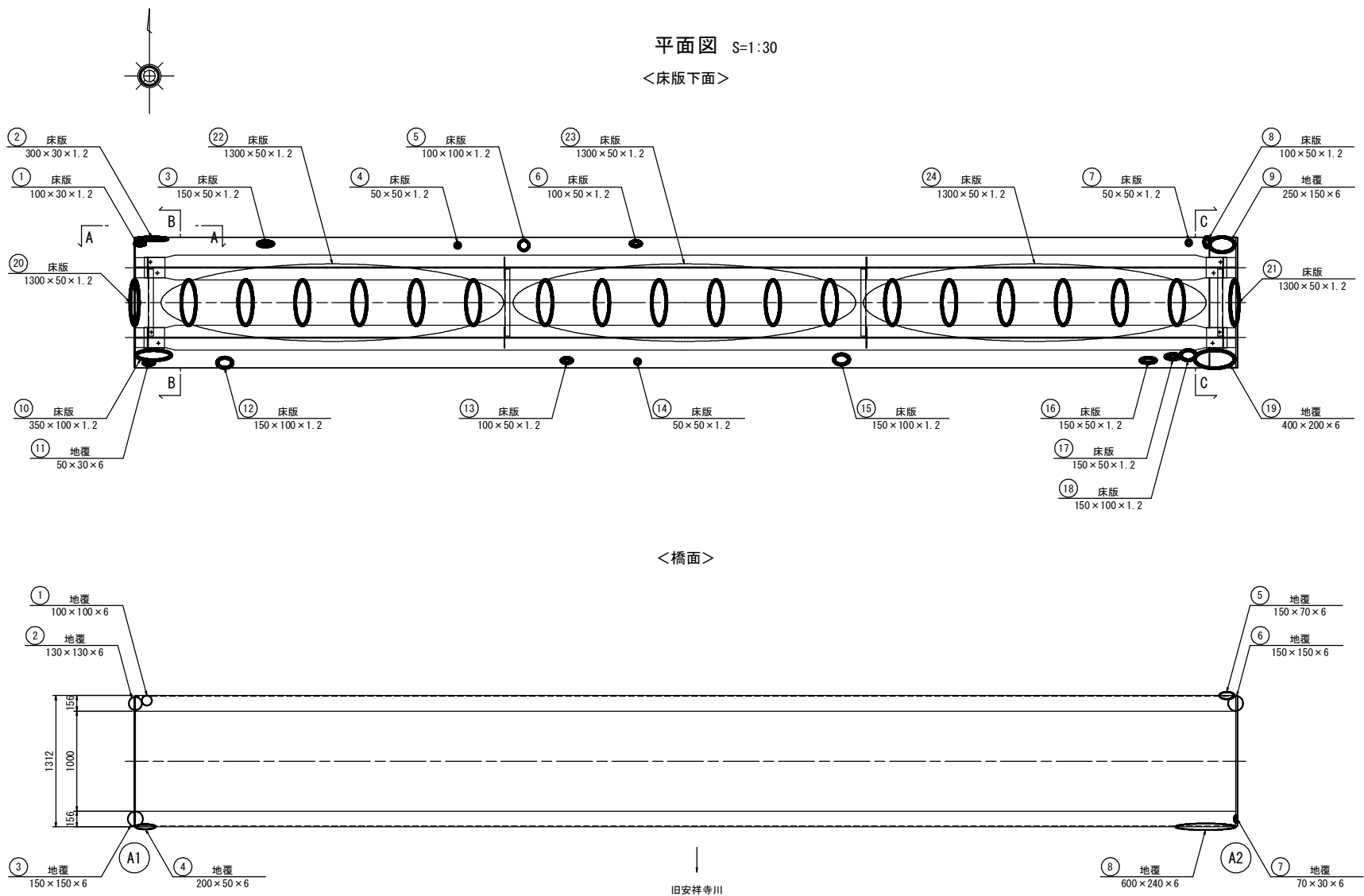
(1橋当たり)

工 種	名 称	仕 様	単 位	数 量	備 考
橋梁塗装工	塗装		m2	44.97	
	素地調整	2種ケレン	m2	44.97	
	塗膜除去(塗膜剥離剤)		m2	44.97	E00 STRIPPER同等品以上

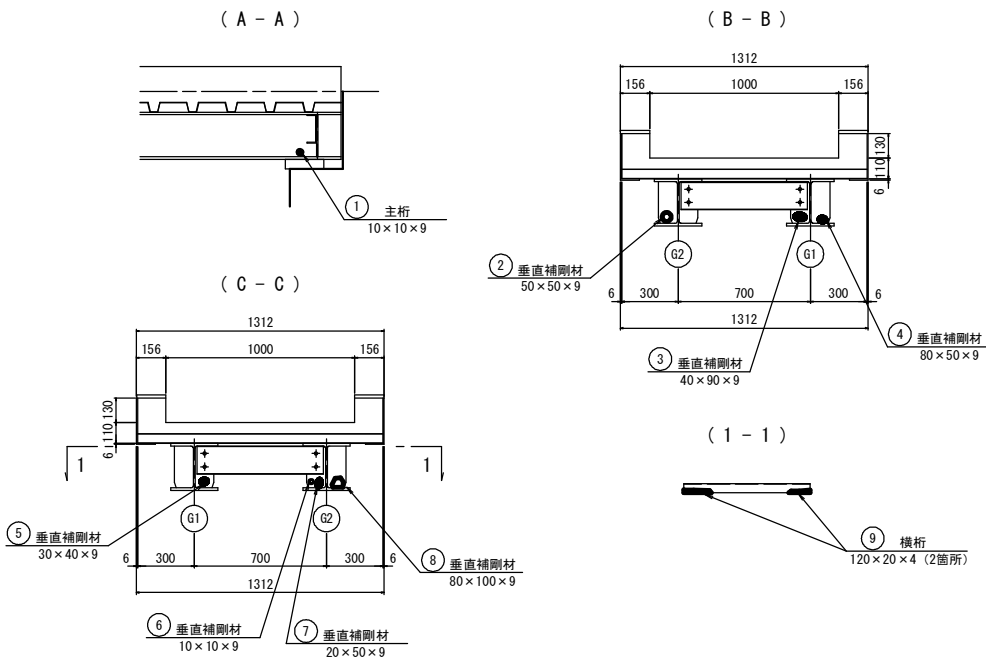
工 事 名	(総合評価) 動修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区動修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修詳細図(1)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	14/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

南畑人道橋 補修詳細図(2)

桁補修工(主桁・横桁・デッキ床版)



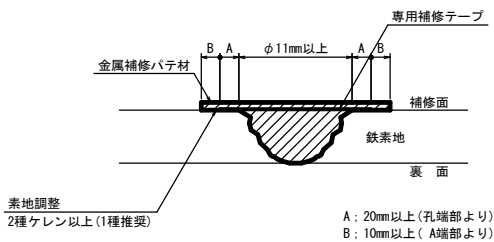
主桁部詳細図 S=1:20



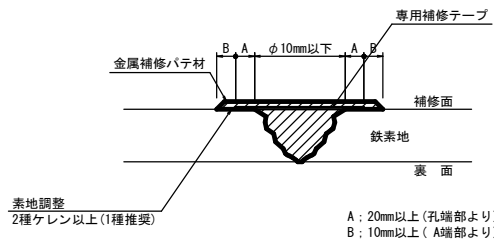
桁補修詳細図

金属パテ(ラスタップ(E)1110同等品以上)

<φ11mm以上裏面当て板なし>



<φ10mm以下裏面当て板なし>



金属パテ 数量表

番号	損傷箇所	幅(m)	高さ(m)	厚み(m)	箇所数	面積(m2)	体積(m3)
床版下面							
①	床版	0.100	0.030	0.0012	1	0.0030	0.000004
②	床版	0.300	0.030	0.0012	1	0.0090	0.000011
③	床版	0.150	0.050	0.0012	1	0.0075	0.000009
④	床版	0.050	0.050	0.0012	1	0.0025	0.000003
⑤	床版	0.100	0.100	0.0012	1	0.0100	0.000012
⑥	床版	0.100	0.050	0.0012	1	0.0050	0.000006
⑦	床版	0.050	0.050	0.0012	1	0.0025	0.000003
⑧	床版	0.100	0.050	0.0012	1	0.0050	0.000006
⑨	地覆下面	0.250	0.150	0.0060	1	0.0375	0.000225
⑩	床版	0.350	0.100	0.0012	1	0.0350	0.000042
⑪	地覆下面	0.050	0.030	0.0060	1	0.0015	0.000009
⑫	床版	0.150	0.100	0.0012	1	0.0150	0.000018
⑬	床版	0.100	0.050	0.0012	1	0.0050	0.000006
⑭	床版	0.050	0.050	0.0012	1	0.0025	0.000003
⑮	床版	0.150	0.100	0.0012	1	0.0150	0.000018
⑯	床版	0.150	0.050	0.0012	1	0.0075	0.000009
⑰	床版	0.150	0.050	0.0012	1	0.0075	0.000009
⑱	床版	0.150	0.100	0.0012	1	0.0150	0.000018
⑲	地覆下面	0.400	0.200	0.0060	1	0.0800	0.000480
⑳	床版	1.300	0.050	0.0012	1	0.0650	0.000078
㉑	床版	1.300	0.050	0.0012	1	0.0650	0.000078
㉒	床版	1.300	0.050	0.0012	1	0.0650	0.000078
㉓	床版	1.300	0.050	0.0012	1	0.0650	0.000078
㉔	床版	1.300	0.050	0.0012	1	0.0650	0.000078
						0.5910	0.00128

床版下面							
①	地覆	0.100	0.100	0.006	1	0.0100	0.000060
②	地覆	0.130	0.130	0.006	1	0.0169	0.000101
③	地覆	0.150	0.150	0.006	1	0.0225	0.000135
④	地覆	0.200	0.050	0.006	1	0.0100	0.000060
⑤	地覆	0.150	0.070	0.006	1	0.0105	0.000063
⑥	地覆	0.150	0.150	0.006	1	0.0225	0.000135
⑦	地覆	0.070	0.030	0.006	1	0.0021	0.000013
⑧	地覆	0.600	0.240	0.006	1	0.1440	0.000864
						0.2385	0.00143

主構造部							
①	主桁	0.010	0.010	0.009	1	0.0001	0.000001
②	垂直補剛材	0.050	0.050	0.009	1	0.0025	0.000023
③	垂直補剛材	0.040	0.090	0.009	1	0.0036	0.000032
④	垂直補剛材	0.080	0.050	0.009	1	0.0040	0.000036
⑤	垂直補剛材	0.030	0.040	0.009	1	0.0012	0.000011
⑥	垂直補剛材	0.010	0.010	0.009	1	0.0001	0.000001
⑦	垂直補剛材	0.020	0.050	0.009	1	0.0010	0.000009
⑧	垂直補剛材	0.080	0.100	0.009	1	0.0080	0.000072
⑨	横桁	0.120	0.020	0.004	2	0.0048	0.000019
						0.0253	0.00020

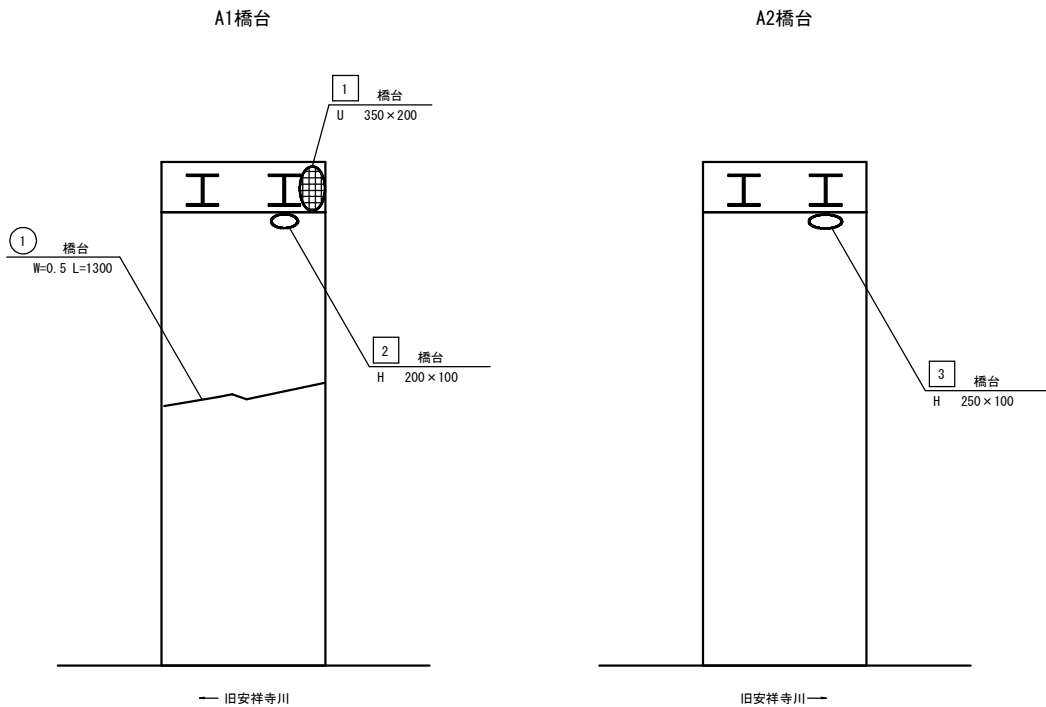
桁補修工 合計

工 種	種 別	仕 様	単位	数量	備 考
金属パテ補修	金属パテ補修	t=1.2mm~9mm	m3	0.003	
	金属補修パテ材	ラスタップ(E)1110同等品以上	セット	7	1kg/セット、標準使用量:2,200kg/m3 ロス率(0.05)含む
	下地材	ラスタップ(E)2350同等品以上	缶	1	1kg/缶
	専用補修テープ	ラスタップ7520同等品以上	巻	1	100mm×30M

工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	15/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

南畑人道橋 補修詳細図(3) S=1:30

ひび割れ補修工・断面修復工（下部工）



ひび割れ補修工
(低圧注入工法)

番号	ひびわれ幅	ひびわれ長	箇所	合計ひびわれ長
	(m)	(m)		(m)
下部工				
①	0.0005	1.300	1	1.300
	小計			1.300

断面修復工

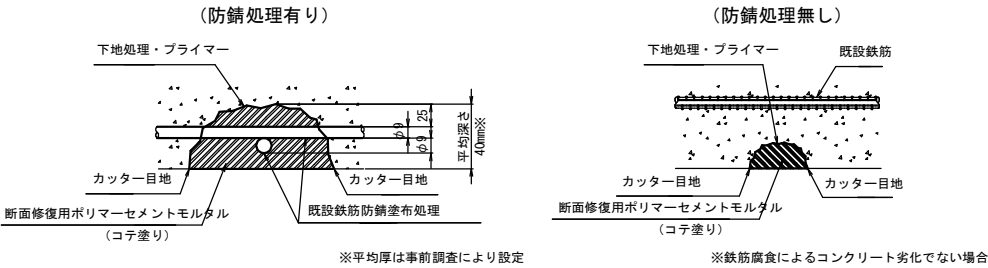
番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所数	面積 (m2)	体積 (m3)
下部工							
1	有	0.350	0.200	0.030	1	0.070	0.0021
2	無	0.200	0.100	0.015	1	0.020	0.0003
3	無	0.250	0.100	0.030	1	0.025	0.0008
合 計 (防錆処理有)						0.070	0.0021
合 計 (防錆処理無)						0.045	0.0011

注記)
1. 鉄筋露出のはつり深さは20mm+30mm＝50mmを基準とする。
但し、計測深さが基準値以上の場合は計測値をはつり深さとする。
2. うきのはつり深さは、30mmで統一する。
3. 剥離のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
4. 豆板のはつり深さは、計測値をはつり深さとする。
但し、深さ計測無し箇所については、はつり深さ30mmとする。

ひび割れ補修工・断面修復工 合計

工 種	種 別	仕 様	単位	数量	備 考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.3	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.097	ロス率(0.15)を含む。
	シーل材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.136	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	5	
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.0021	RIS322エース同等品以上。
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	〃	m3	0.0011	RIS322エース同等品以上。

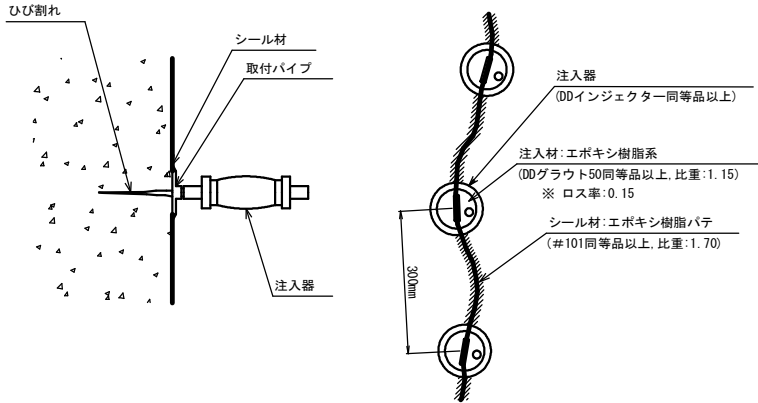
断面修復工詳細図



断面修復工特記事項
1. 施工に先立ち、補修箇所、数量を必ず再確認すること。
2. 断面修復ははつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
3. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
4. 断面修復の平均厚は、劣化コンクリート除去後に計測し決定すること。
計測結果については、監督職員へ報告し了承を得ること。
5. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図

(ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)



損傷の凡例

記号	損傷の種類	表 示
	ひびわれ	
H	剥離	
T	鉄筋露出	
U	うき	
K	欠損	
M	豆板	
	側面の損傷	

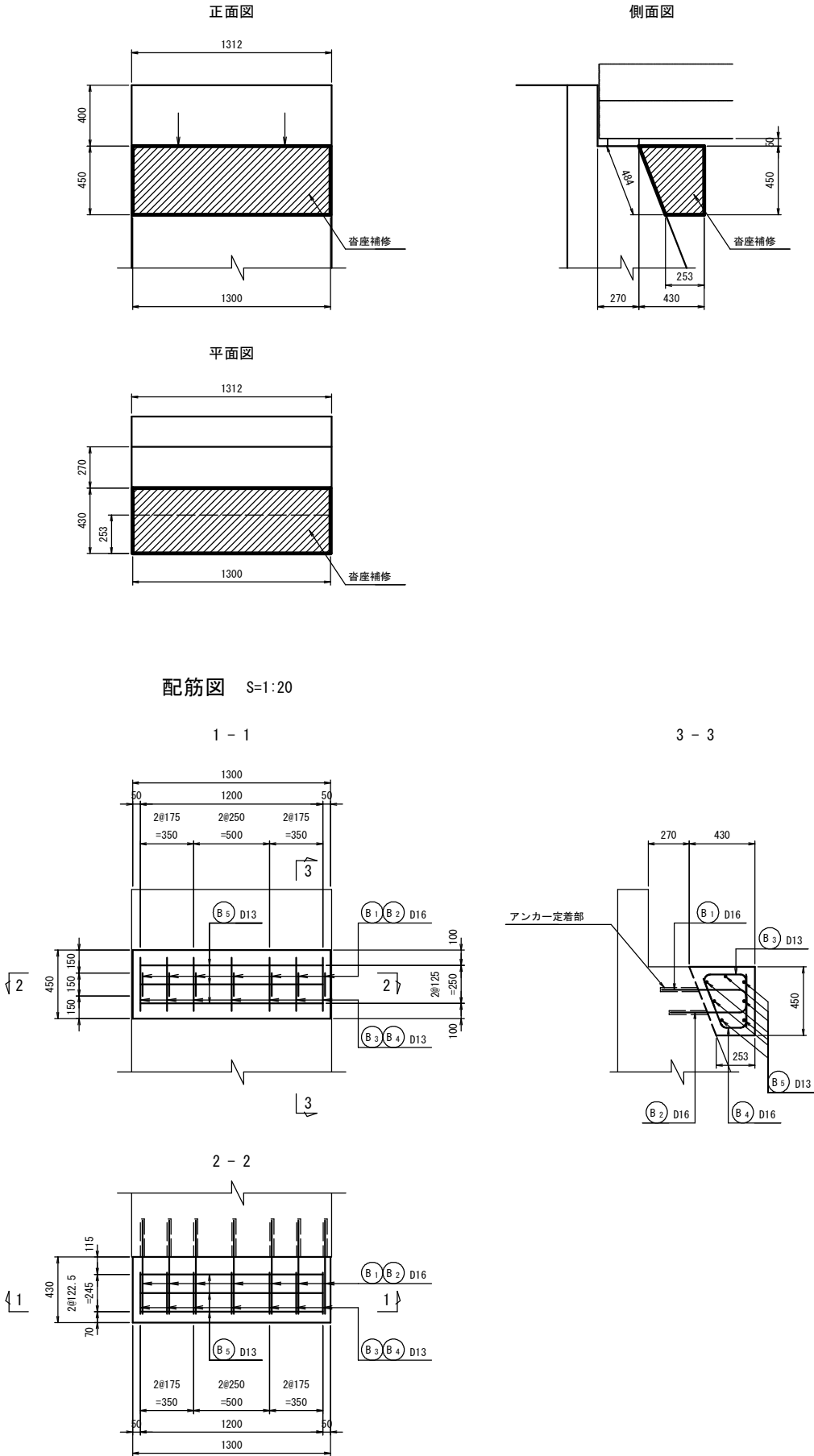
工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修詳細図(3)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	16/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

南畑人道橋 補修詳細図(4)

沓座補修工(下部工) 【公共関連】

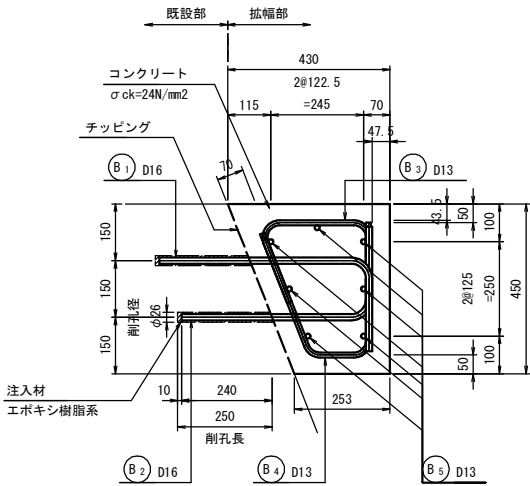
A1橋台・A2橋台 S=1:20

位置図 S=1:50



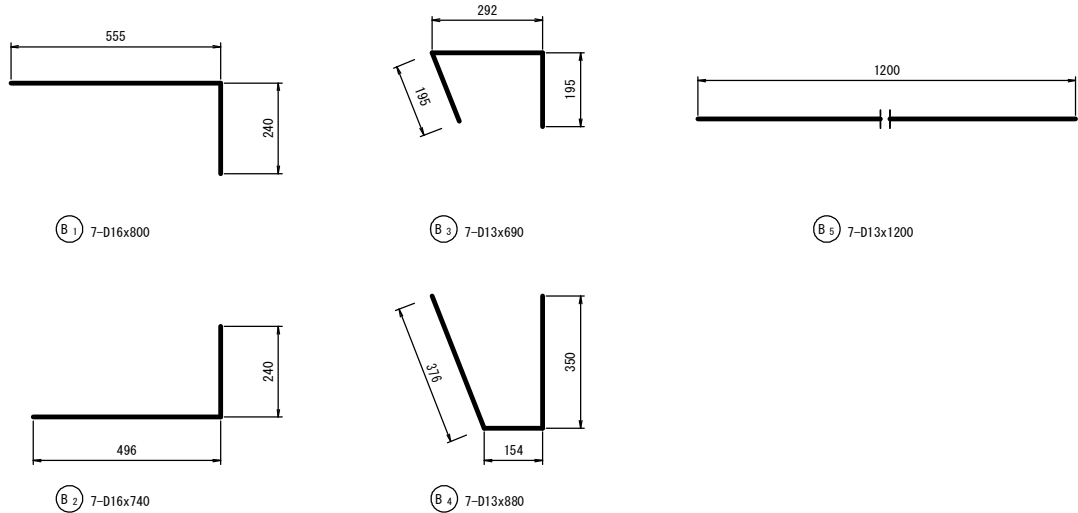
アンカー定着部詳細図 S=1:10

A1橋台 N=7箇所
A2橋台 N=7箇所



鉄筋加工図 S=1:10

(本数は橋台1基あたり)



沓座補修工 数量表

(1橋当たり)

細別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	24-12-25 (20) BB	m3	0.44	ロス率:11%含む
型枠		m2	2.46	
鉄筋	D13 (SD345)	kg	38	
	D16 (SD345)	kg	34	アンカー筋
コンクリート削孔	φ26mm L=250mm	孔	28	
注入材	エポキシ樹脂系	kg	3.2	ロス率:16%含む
鉄筋探査		m2	1.26	
チッピング		m2	1.26	

鉄筋表

(SD345) (橋台1基あたり)

符号	径	長さ (mm)	本数 (本)	質量			摘要
				(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
B 1	D16	800	7	1.56	1.25	9	└┐
B 2	D16	740	7	1.56	1.15	8	└┐
B 3	D13	690	7	0.995	0.87	5	└┐
B 4	D13	880	7	0.995	0.70	6	└┐
B 5	D13	1200	7	0.995	1.19	8	—
				D13 19 kg			
				D16 17 kg			

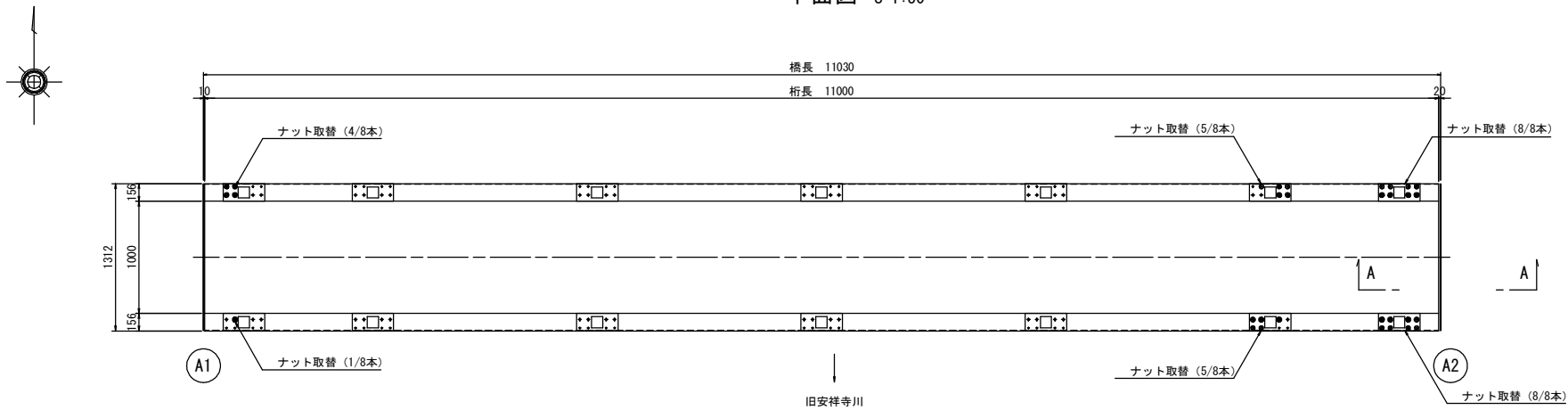
- 注) 1. 本図面は既存資料及び現地調査結果を基に作成したものであるため、
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. アンカーは橋台の既設鉄筋と干渉しない位置に設置することとし、
事前に鉄筋探査を実施し、既設鉄筋の位置を確認すること。

工 事 名	(総合評価) 勸修寺橋他 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勸修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修詳細図(4)		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	17/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

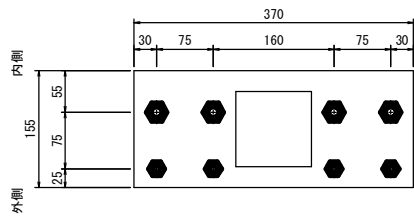
南畑人道橋 補修詳細図(5)

高欄補修工

平面図 S=1:30



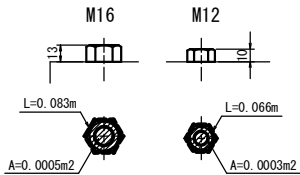
ナット取替詳細図 S=1:5



ナット取替
[1橋当り数量]
16-M16 NUT (1種)
15-M12 NUT (1種)

注記) ナット取替を施した後、全てのナットの塗装を行うこと。
なお、はけ、ローラーによる塗装を想定している。

ナット部品図 S=1:3



塗装塗替

Rc-III塗装系

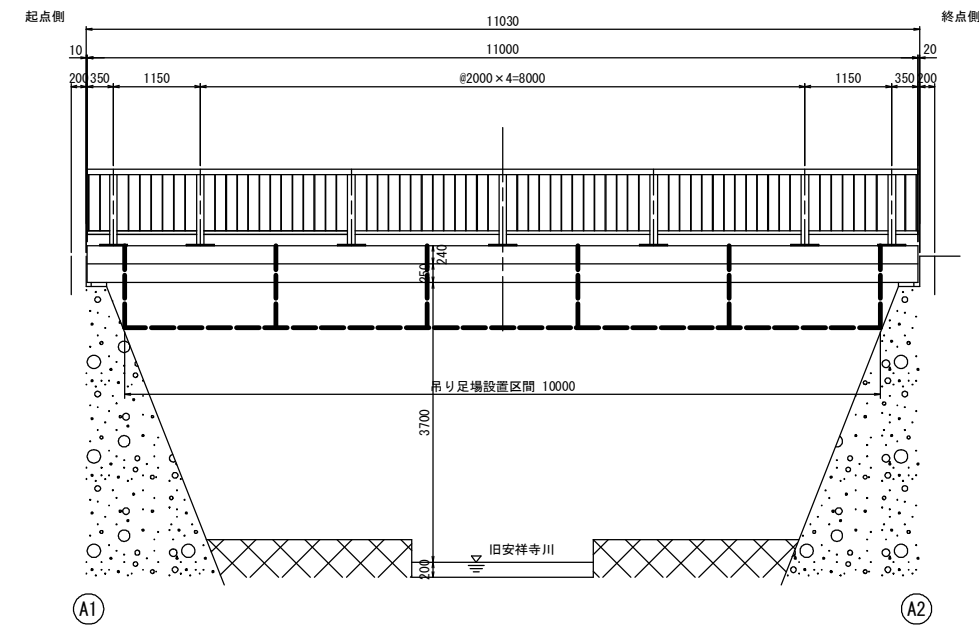
塗装工程		仕 様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	3種B, 動力工具等			4時間以内
2	下塗り	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	0.20kg/m ²	60 μ m	1日～10日
3	下塗り	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	0.20kg/m ²	60 μ m	1日～10日
4	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.14kg/m ²	30 μ m	2日～10日
5	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.12kg/m ²	25 μ m	

鋼道路橋防食便覧 P.11-118

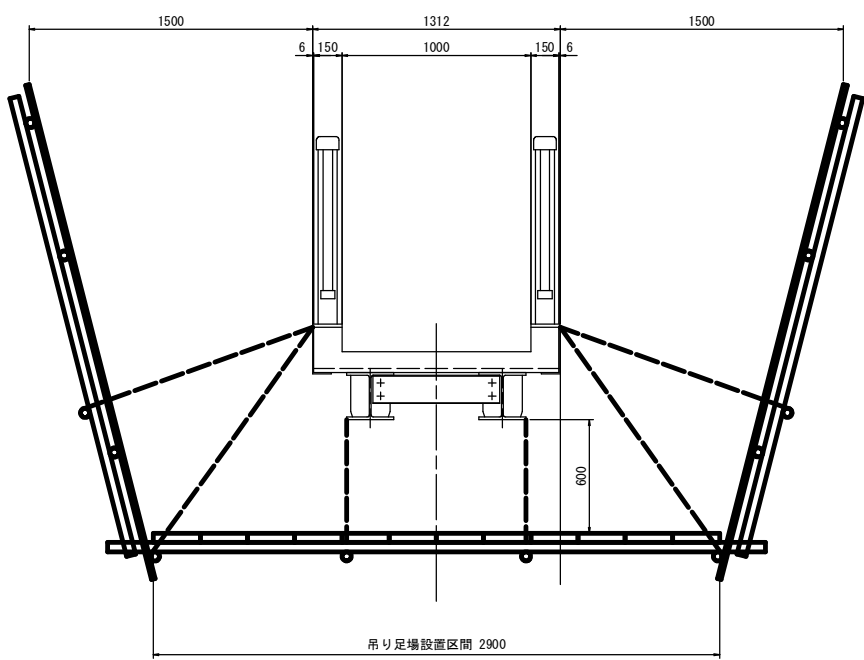
工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他 1 橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北出町他地内		
図 面 名	南畑人道橋 補修詳細図(5)		
事業年度	令和 7 年度		
縮 尺	図 示	図面番号	18/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

<参考図>南畑人道橋 吊足場一般図

側面図 S=1:50

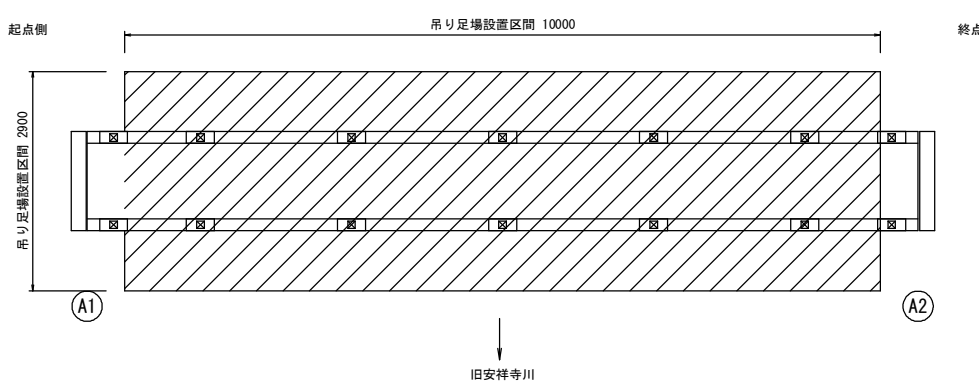


断面図 S=1:20



旧安祥寺川 → 主体足場＋両側朝顔＋板張防護＋シート張防護＋床版シート張防護

平面図 S=1:50



補修用足場工数量表

工 種	種 別	単 位	数 量	備 考
吊足場	吊足場(桁高h<1.5)	m2	29.0	足場工・朝顔(両側朝顔)・板張工(両側朝顔)・床版シート張防護
剥離用養生シート	養生回数1回	m2	29.0	

- <注記>
- 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。
 - 塗膜に有害物質が含まれるため、塗膜剥離・素地調整施工時等は、塗膜が飛散しないように環境へ配慮した対応を行うこと。
 - 吊足場には、足場工・朝顔(両側朝顔)・板張工(両側朝顔)・床版シート張防護が含まれている。
 - 吊足場の供用期間は、1箇月を想定している。
 - 塗膜剥離時には、剥離用養生シート工により養生を行うこと。
 - 剥離用養生シート工は、養生回数1回と想定している。

工 事 名	(総合評価) 勤修寺橋他1橋補修工事		
工事場所	京都市山科区勤修寺東北出町他地内		
図 面 名	<参考図>南畑人道橋 吊足場一般図		
事業年度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	19/19
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			